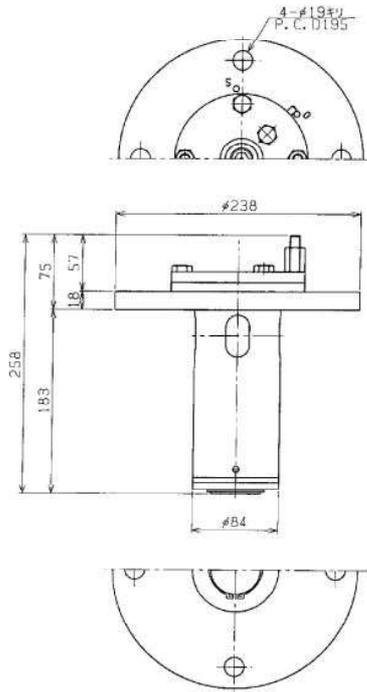
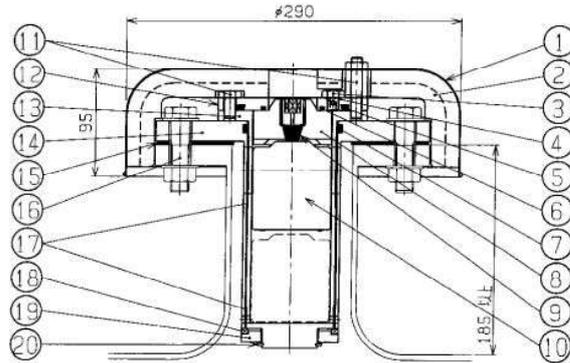


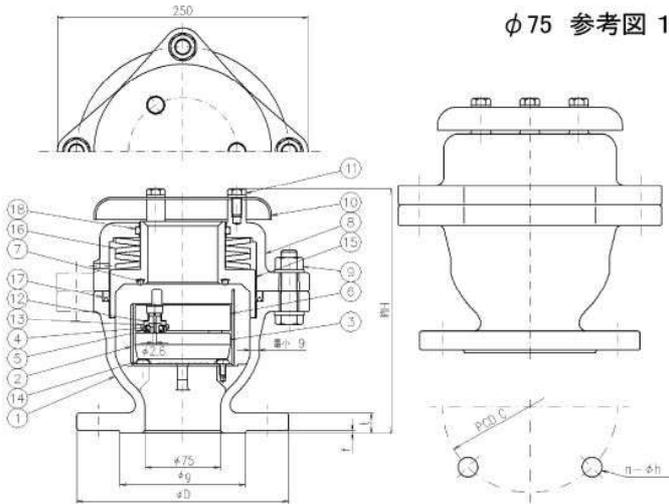
φ50 参考図 3



部品名	材質	摘要	部品名	材質	摘要
1 保護カバー	SUS304	t=0.8	11 キャップボルト	SUS304	M10
2 保温ブロック	発砲スチレン		12 キャップ	SUS304	
3 残圧抜きボルト	SUS304		13 ボディー	SUS304	
4 Oリング	EPDM	P9	14 アダプター	SUS304	100A FFフランジ
5 Oリング	EPDM	P85	15 パッキン	S B R	100A 上水パッキン
6 Oリング	EPDM	P49	16 ボルト・ナット	SUS304	M16 4組
7 Oリング	N B R	P75	17 シールライド材	C R	ゴムライニング
8 遊動弁体	ホリエチレン	OD=φ68	18 スライドリング	ホリエチレン	
9 円錐ゴム	S B R		19 ストッパー	SUS304	
10 フロート弁体	エポナイド	OD=φ68	20 C形止め輪	SUS304	



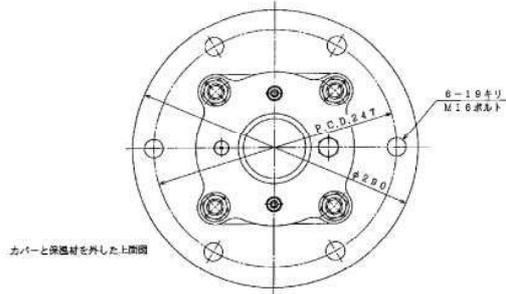
φ75 参考図 1



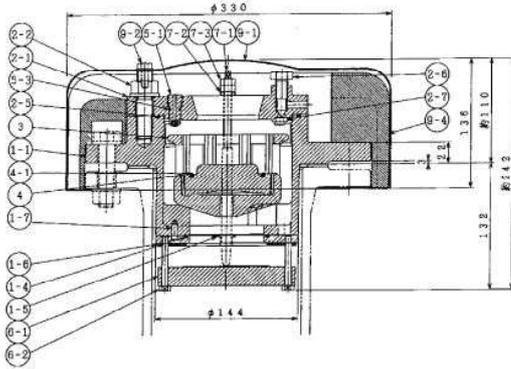
18 Oリング	N B R	1		
17 U パッキン	N B R	1		
16 ざらばね	SUP10	4		
15 ピストン	C3771B	1		
14 十字穴付なべ小ねじ	SUS304	2		
13 Oリング	N B R	1		
12 小空気孔弁座調整ボルト	合成樹脂	1		
11 六角ボルト、平座金	SUS304	3		
10 カバ ー	SUS304	1		
9 六角ボルト、平座金、ナット	SUS304	4組		
8 ふ ー た	FCD450-10	1		
7 大空気孔弁座(Oリング)	N B R	1		
6 遊動弁体	合成樹脂	1		
5 ねじこま	合成樹脂	1		
4 小空気孔弁座	水道用ゴム	1		
3 フロート弁体	合成樹脂	1		
2 フロート弁体案内	SUS304	1		
1 弁箱	FCD450-10	1		
符号	部 品 名 称	材 質	個 数	摘要

種類 (呼び圧力)	フランジ								高さ H
	D	g	ボルト穴			ボルト の呼び	厚さ		
			C	n	h		t	f	
2種 (7.5K)	211	125	168	4	19	M16	21	3	248
3種 (10K)	185	126	150	8	19	M16	18	2	245

φ75 参考図 2

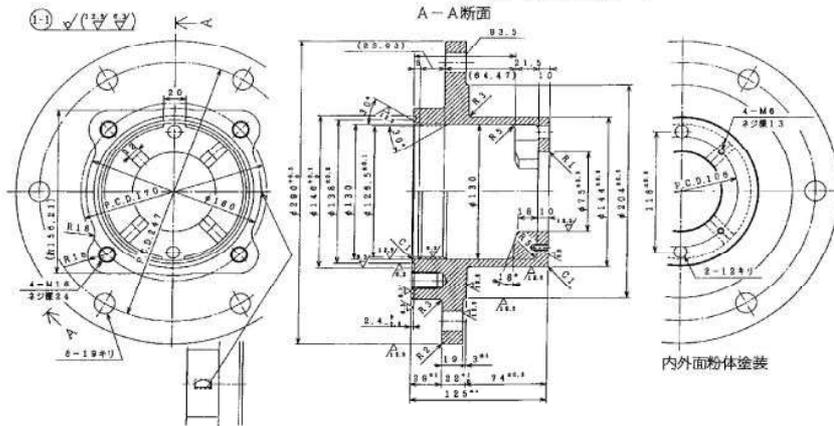


カバーと保温材を外した上面図



9-4	保温材	ポリイソル	1	
9-2	六角ボルト・座金	SUS304	4S	
9-1	カバー	SS400	1	内外面粉体塗装
7-3	六角ナット	SUS304	4	
7-2	シール座金	SUS304	2	
7-1	押し棒	SUS304	2	
6-2	吊りボルト	SUS304	4	
6-1	仕切板	P P	1	
5-3	リング	N B R	1	
5-1	小弁口	CAC406・NBR	1式	
4-1	ゴムシート	S B R	1	
4	大空気孔弁体	P P	1	
3	小空気孔弁体	P P	1	
2-7	ストッパ	C3771	2	
2-6	水抜きボルト	SUS304	1	
2-5	リング	N B R	1	
2-2	植込ボルト・ナット・座金	SUS304	4式	
2-1	ふた	SCS13	1	
1-7	十字穴付皿小ねじ	SUS304	4	
1-6	弁座	SUS304・布入りゴム	1式	
1-5	リング	N B R	1	
1-4	リング	N B R	2	
1-1	弁箱	FCD450-10	1	内外面粉体塗装
品番	部品名	材料	個数	備考

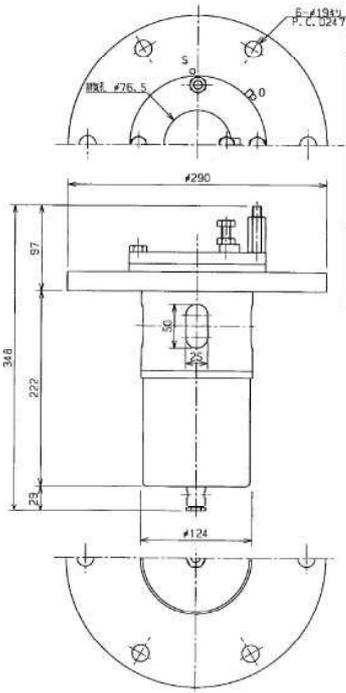
φ75 参考図 2-1



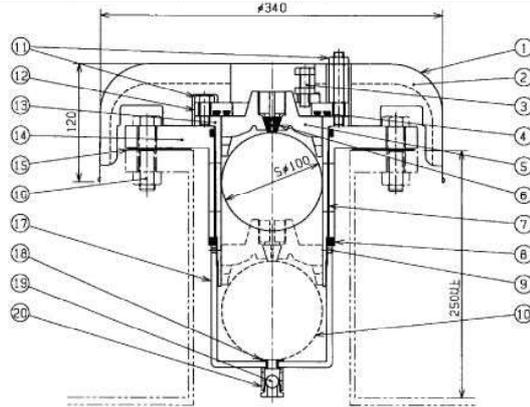
内外面粉体塗装

1-4	平座金	SUS304	8	M16
1-3	六角ナット(焼付防止)	SUS304	6	M16
1-2	六角ボルト	SUS304	6	M16×70(S=38)
1-1	弁箱	FCD450-10	1	
品番	部品名	材料	個数	備考

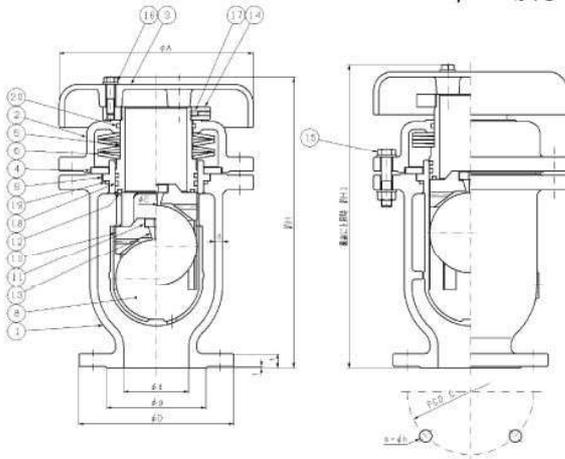
φ75 参考図 4



部品名	材質	摘要	部品名	材質	摘要
1 保護カバー	SUS304	t=1.2	11 キャップボルト	SUS304	M10
2 保護ブロック	発砲スチレン		12 キャップ	SUS304	
3 ノックボルト	SUS304	M10	13 ボディー上部	SUS304	
4 Oリング	NBR	PB5,P105,P112	14 アダプター	SUS304	上水フランジ
5 遊動弁体	ホリエチレン	OD=φ100	15 パッキン	SBR	150A 上水フランジ
6 円錐ゴム	SBR		16 ボルト・ナット	SUS304	M16 6組
7 シールスライド材	CR	ゴムライニング	17 ボディー下部	SUS304	
8 スライドリング	ホリエチレン		18 チャッキ弁座	SBR	
9 止めネジ	SUS304	M5	19 チャッキボール	SUS304	φ12.7
10 フロート弁体	エポナイト	φ100	20 チャッキ弁箱	SUS304	



φ100及び150 参考図



20	Oリング	NBR	1	
19	Oリング	NBR	1	
18	Oリング	NBR	2	
17	六角穴付き止めねじ	SUS304	2	
16	カバー用ボルト・平座金	SUS304	3	
15	弁箱用ボルト・ナット・平座金	SUS304	15式	
14	丸ナット	SUS304	1	
13	小空気孔弁座	水道用ゴム	1	
12	大空気孔弁座(Oリング)	NBR	1	
11	ねじこま	合成樹脂	1	
10	遊動弁体	合成樹脂	1	
9	フロート弁体案内	CAC406	1	めっき
8	フロート弁体	合成樹脂	1	φ150 SUS316L
7	—	—	—	—
6	さらばね	SUP10	15式	
5	ピストン	SUS304	1	
4	カラー	FCD450-10	1	
3	カバー	FCD450-10	1	
2	ふた	FCD450-10	1	
1	弁箱	FCD450-10	1	
符号	部品名称	材質	個数	摘要

2種

呼び径	口径		フランジ寸法				ボルト穴		ボルトの呼び		厚さ		弁箱の厚さ O	小空気孔弁座 E	カバー A	高さ	
	d	D	g	C	n	h	t	f	t	f	H	H1					
100	100	238	152	195	4	19	M16	23	3	12.0	3.5	298	455	476			
150	150	290	204	247	6	19	M16	23	3	13.0	5.0	372	595	620			

3種

呼び径	口径		フランジ寸法				ボルト穴		ボルトの呼び		厚さ		弁箱の厚さ O	小空気孔弁座 E	カバー A	高さ	
	d	D	g	C	n	h	t	f	t	f	H	H1					
100	100	210	151	175	8	19	M16	18	2	12.0	2.8	298	451	472			
150	150	280	212	240	8	23	M20	22	2	13.0	5.0	372	594	619			

2.3 NS形充水機能付バタフライ弁

2.3.1 適用範囲

この節では呼び径500mm～700mmのNS形充水機能付バタフライ弁について規程する。

2.3.2 形状、寸法、材質及び性質

NS形充水機能付バタフライ弁の形状、寸法、材質及び質量は参考図のとおりとする。材質については、以下によることとする。

部品名称	材 料
弁 箱	JIS G 5502のFCD450-10
弁 体	JIS G 5502のFCD-450-10
弁 棒	JIS G 4303又はJIS G 4318のSUS403
金 属 弁 座	a) JIS G 5502のFCD450-10(硬質クロムメッキ) b) JIS H 8615によるクロムメッキを弁体又は弁箱に施したもの c) JIS G 4303, JIS G 4304又はJIS G 4305のSUS304若しくはSUS316を弁体又は弁箱に取り付けたもの※1 d) JIS G 5121のSCS13又はSCS14の弁体と一体のもの
ゴム弁座	JIS K 6353の水道用ゴム(CR)
弁体取付用キー、 リーマボルト、テー パピンなど	JIS G 4303又はJIS G 4318のSUS420I2
グランドパッキン	JIS B 2401-1のNBR(オリング)
カ ハ ー	a) JIS G 5502のFCD400-15又はFCD450-10 b) JIS G 5501のFC200又はFC250
脚	a) JIS G 5502のFCD450-10 b) JIS G 5501のFC200又はFC250
キャップ	a) JIS G 5502のFCD450-10 b) JIS G 5501のFC250
※1 ねじ止め、圧着、盛金、溶接、溶射などによる取付けとする。 ※2 物性はJWWA K 156の6.1(物性)、浸出性はJWWA B 138の附属書Aによる。	

2.3.3 使用圧力

NS形充水機能付バタフライ弁の最高使用圧力は0.75MPaとする。

2.3.4 最高許容圧力

NS形充水機能付バタフライ弁の最高許容圧力は1.3MPaとする。

2.3.5 操作時最大差圧

NS形充水機能付バタフライ弁の操作時最大差圧は0.75Mpaとする。

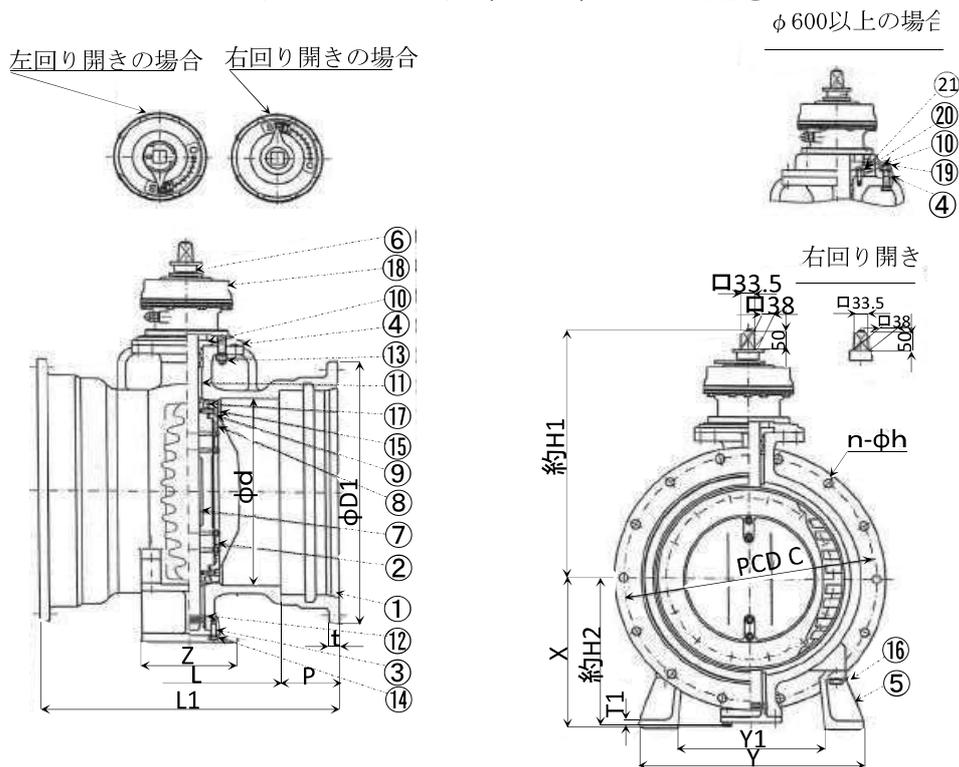
2.3.6 接合形式

継手形式はNS形ダクタイル鋳鉄管継手JWWA G 113によるものとする。

2.3.7 性能試験

- (1) 外観及び形状
NS形充水機能付バタフライ弁の外観及び形状は目視によって調べる。
- (2) 弁箱耐圧試験
NS形充水機能付バタフライ弁の弁箱耐圧試験は1.4Mpaの水圧を180秒間以上保持することとし、異常がないことを確認すること。
- (3) 弁座漏れ試験
NS形充水機能付バタフライ弁の弁座漏れ試験は0.75Mpaの水圧を加え120秒以上保持し、当該試験箇所から漏れがないことを確認すること。
- (4) 浸出試験
浸出試験は、JIS S 3200-7の試験を行い、厚生労働省令第14号「給水装置の構造及び材質の基準の省令」に適合すること。
また、水道施設の技術的基準を定める省令の別表第二に適合すること。

NS形充水機能付バタフライ弁(φ500~φ700) 参考図①

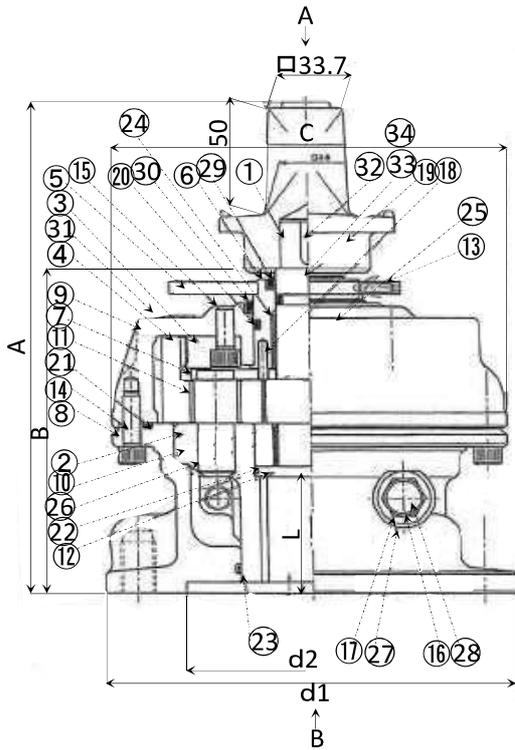


呼び径	面周寸法 L1	有効長 L	NS形					
			P	D1	C	n	h	t
500	762	460	151	700	654	14	23	27
600	782	480	151	804	758	14	23	28
700	894	520	187	930	876	16	27	29

呼び径	高さ		脚 寸 法				減速機 回転数	
	H1	H2	X	T1	Y1	Y		Z
500	660	395	400	22	380	580	240	26
600	775	470	450	28	440	700	300	26
700	835	540	500	28	540	800	320	26

No.	部品名称	材質	個数	摘要
1	弁箱	FCD450-10	1	弁座部硬質クロムめっき
2	弁体	FCD450-10	1	
3	底ふた	FCD450-10	1	0リング
4	スペーサ	FCD450-10	2	
5	脚	FCD450-10	1	
6	キャップ	FCD450-10	1	
7	弁棒	SUS403	1	
8	テーパーボルト・ナット・平座金	SUS420J2	1式	ナット・平座金SUS304
9	弁座押さえ	CAC406/めっき	1	0リング
10	0リングケース	CAC406	1	0リング
11	軸受ブッシュ	オイルレス	2	
12	割リング	C3771	1	
13	植込みボルト・ナット・平座金	SUS304	4	
14	六角ボルト・平座金	SUS304	4	
15	六角穴付ボルト・ワッシャー・スペーサ	SUS304	1式	スペーサ:真ちゅう
16	六角ボルト・平座金	SUS304	4	
17	ゴム弁座	水道用ゴム	1	CR
18	減速機	-	1	
19	六角ボルト・ナット・平座金	SUS304	1式	
20	六角ボルト	SUS304	1式	
21	六角ボルト・平座金	SUS304	1式	

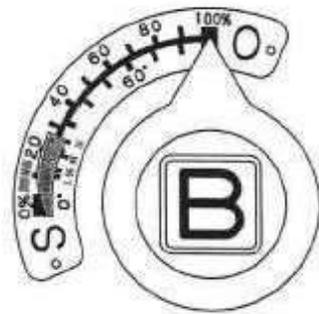
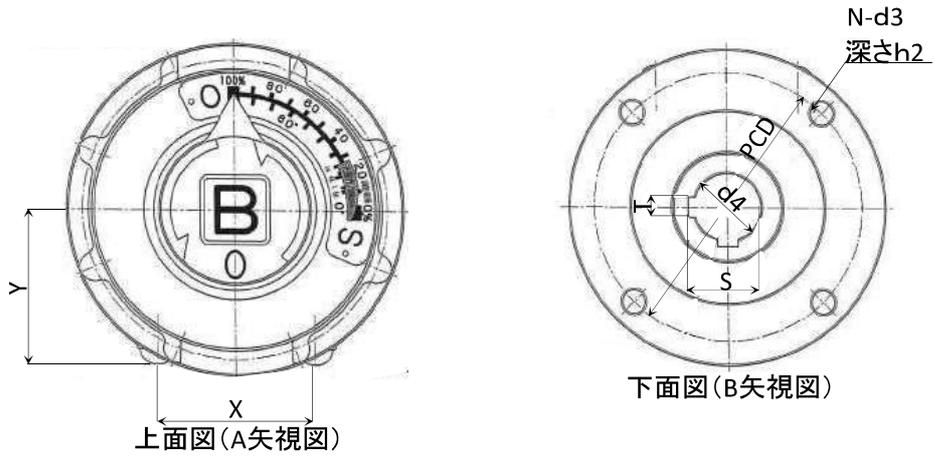
NS形充水機能付バタフライ弁(減速機) 参考図①



右開時用の水道キャップ

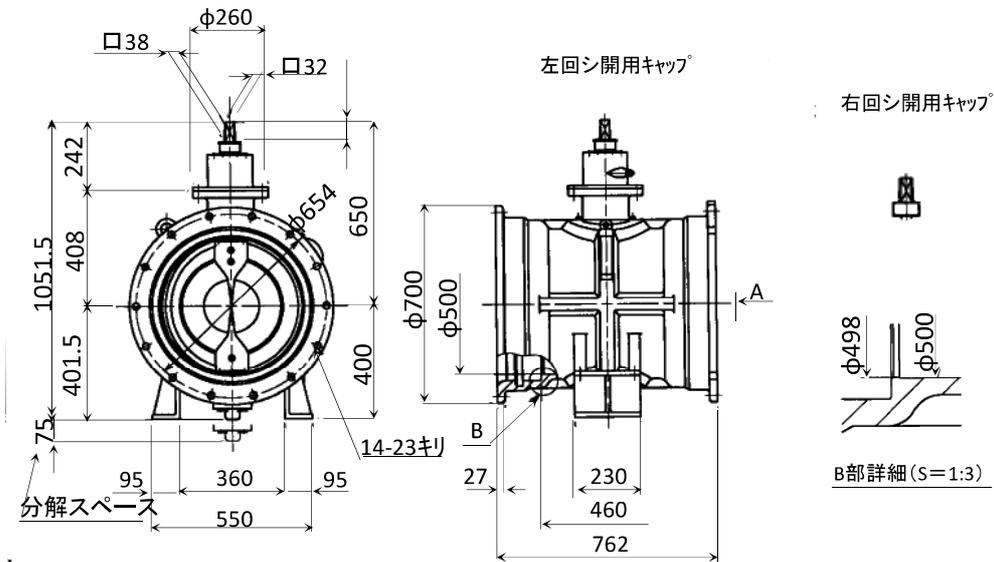
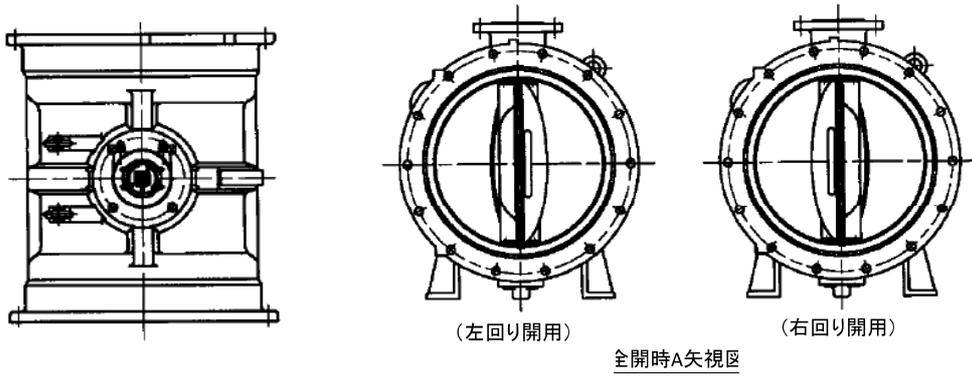
型式	KVA075		KVA150		KVA300		KVA450		KVA800		
出力	750N・m		1500N・m		3000N・m		4500N・m		8000N・m		
減速機	1/65		1/74		1/104		1/104		1/200		
本体寸法	A	207		230		250		250		295	
	B	129		152		172		172		217	
	C	φ150		φ182		φ230		φ230		φ390	
取付フランジ	フランジ名称	-		-		-		-		F25	
	d1	φ150		φ190		φ208		φ208		φ300	
	d2	φ85		φ115		φ130		φ130		φ200	
	h1	4		5		7		7		6	
	PCD	120		160		175		175		254	
	d3	M12		M16		M16		M16		M16	
	h2	18		24		24		24		24	
	N	4		4		4		4		16	
弁棒挿入部	S	29.3	38.3	43.3	64.4	64.4	64.4	80.4	93.4		
	T	8	10	12	18	18	18	22	25		
	d4	φ26	φ35	φ40	φ60	φ60	φ60	φ75	φ88		
	L	45		55		65		65		110	
X	72		85		104		104		180		
Y	73		85		103		103		149		
重量	10kg		16.5kg		30kg		32kg		88kg		

NS形充水機能付バタフライ弁(操作機) 参考図①

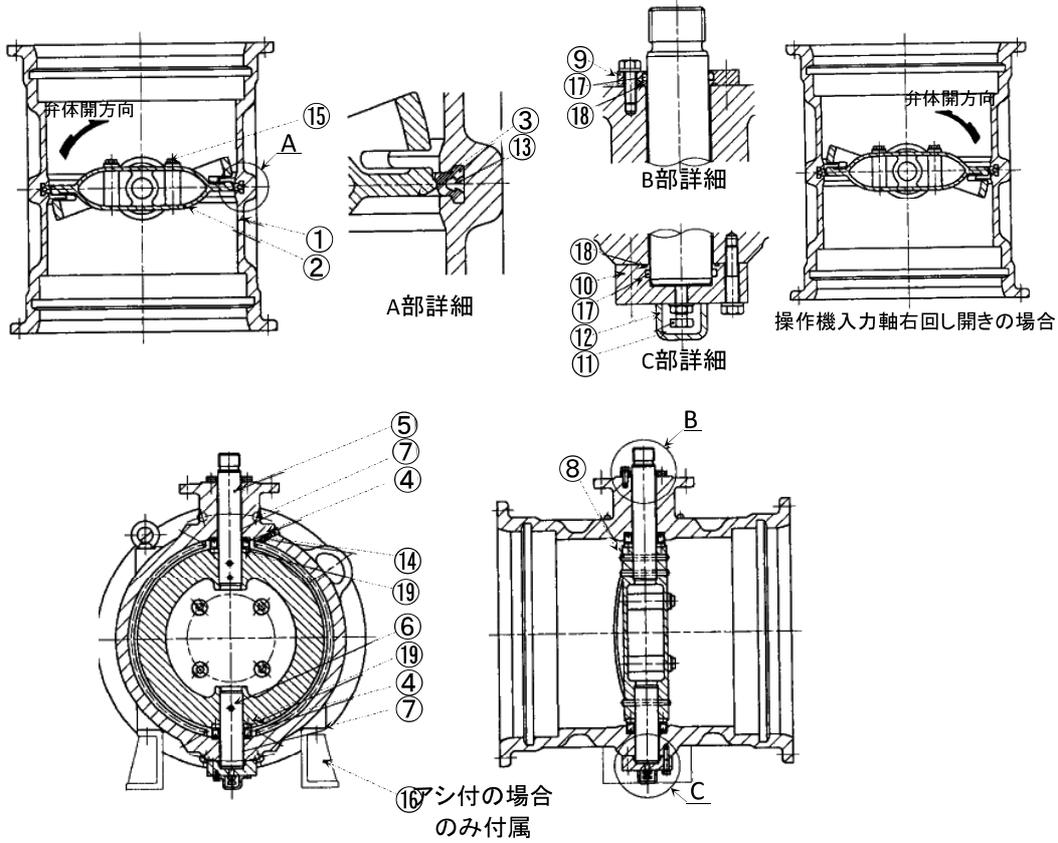


右開時用の銘板

NS形充水機能付バタフライ弁 参考図②(φ500)

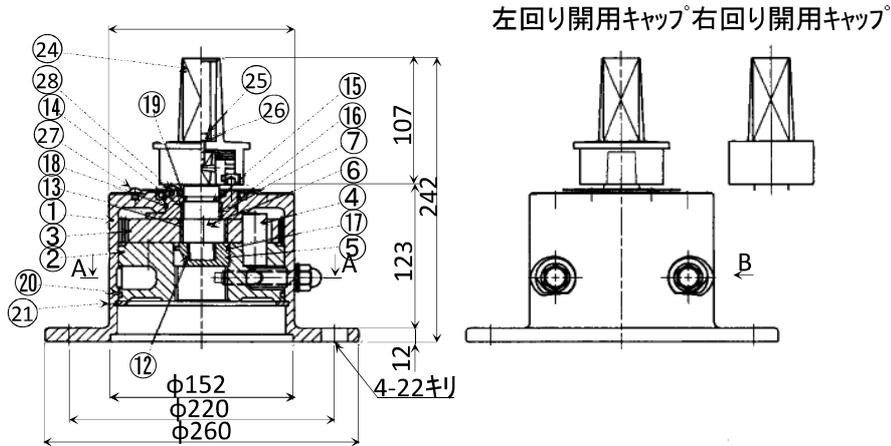
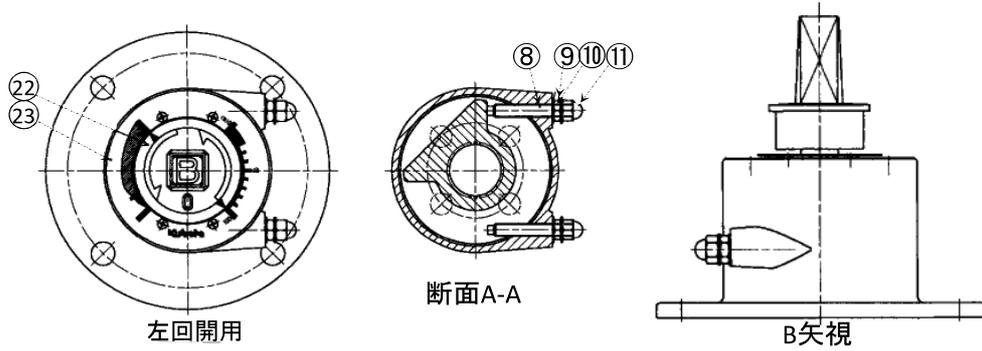


NS形充水機能付バタフライ弁 参考図②(φ500)



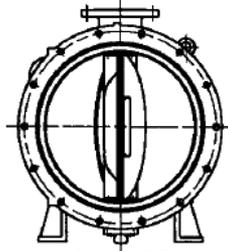
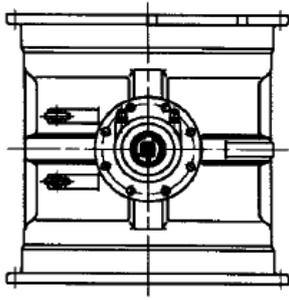
番号	部品名称	材料	番号	部品名称	材料
①	弁箱	FCD450-10	⑪	調整ボルト	SUS304
②	弁体	FCD450-10	⑫	キャップ	FC250
③	ゴムシート	CR	⑬	樹脂	エポキシレジ
④	ハブシールリング	CR	⑭	樹脂注入パイプ	SPC又はSGP
⑤	ウエベンボウ	SUS403	⑮	ウメガネ	SUS304
⑥	シタベンボウ	SUS403	⑯	脚	FC250
⑦	軸受ブシュ	オイルレス	⑰	Oリング	NBR
⑧	テーパーピン	SUS420J2	⑱	Oリング	NBR
⑨	Oリングケース	CAC406	⑲	弁体シールリング	SUS304
⑩	ボトムカラー	FCD450-10			

NS形充水機能付バタフライ弁 参考図②(φ500)

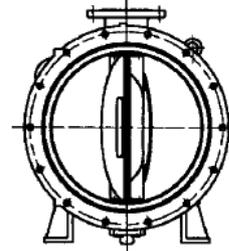


番号	部品名称	材料	番号	部品名称	材料
①	ケース	FCD450-10	⑮	オイルシール	
②	ディスク	FCD450-10	⑯	オイルシール	
③	アウターギヤ	SCM435	⑰	Oリング	NBR
④	ギヤピン	SCM435	⑱	Oリング	NBR
⑤	軸受キャップ	S45C-N	⑲	Oリング	NBR
⑥	シャフト	SUS403	⑳	Oリング	NBR
⑦	スリーブ	CAC702	㉑	C形止め輪(穴用)	SK5
⑧	六角穴付止めネジ	SCN435	㉒	インジケータ	SUS304
⑨	シールワッシャ		㉓	スケール	SUS304
⑩	六角ナット	SUS304	㉔	過トルク回避キャップ	SCS13
⑪	六角袋ナット	SUS304	㉕	六角穴付ボルト	SUS304
⑫	ブシュ		㉖	皿バネ座金	SUS304
⑬	ブシュ		㉗	十字穴付ナベ小ネジ	SUS304
⑭	ブシュ	CAC403	㉘	十字穴付ナベ小ネジ	SUS304

NS形充水機能付バタフライ弁 参考図②(φ600)

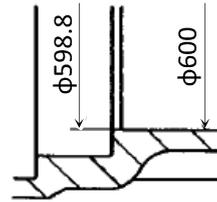
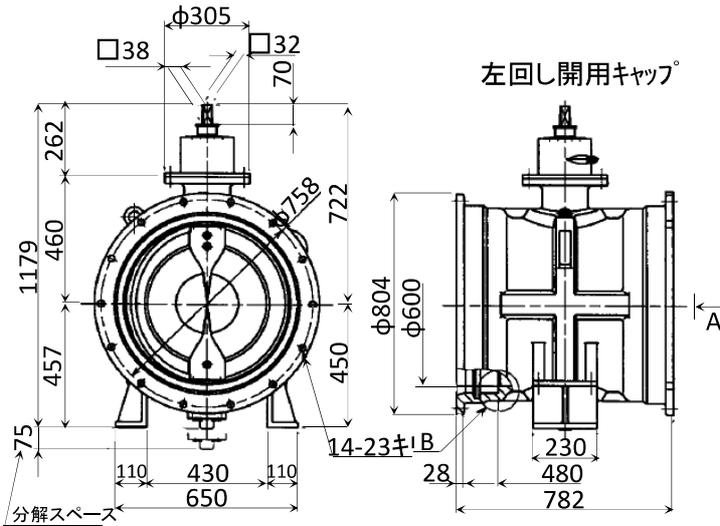


(左回し開用)



(右回し開用)

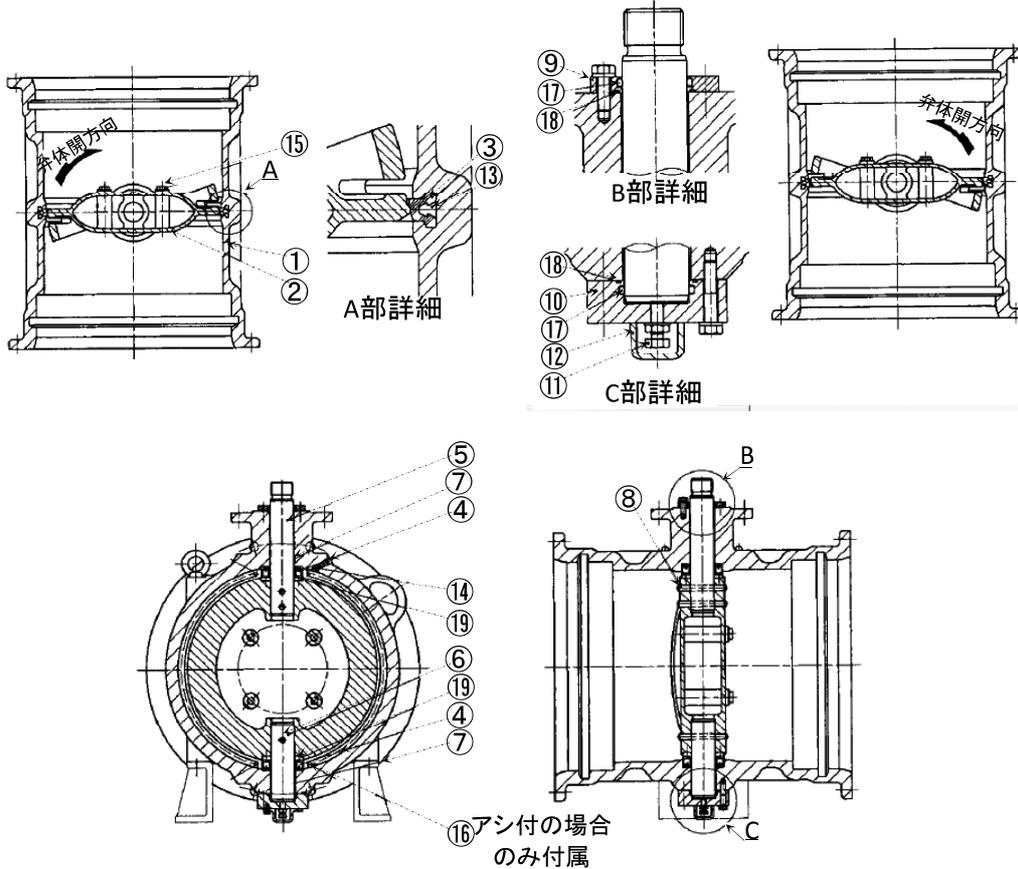
開時A矢視図(S=1:15)



右回し開用キャップ

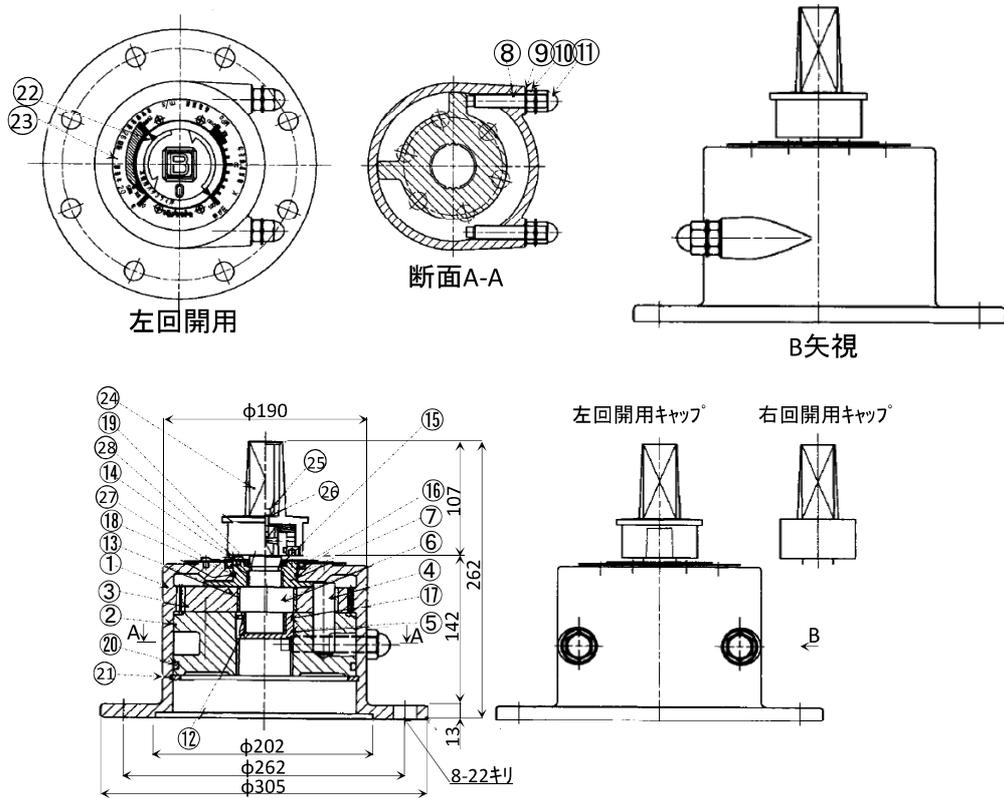


NS形充水機能付バタフライ弁 参考図②(φ600)



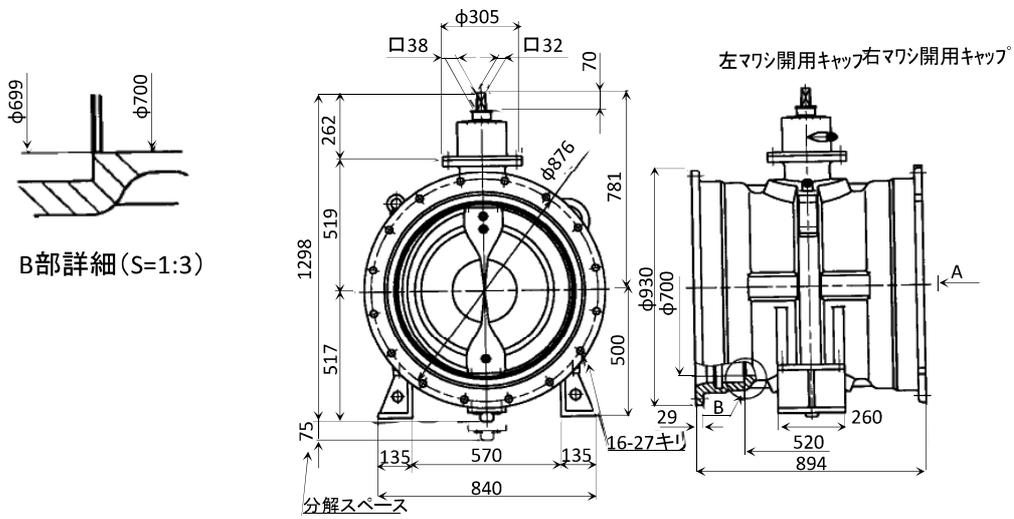
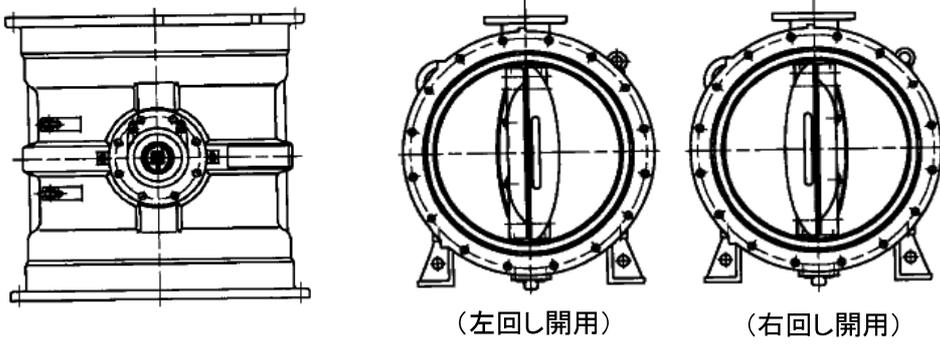
番号	部品名称	材料	番号	部品名称	材料
①	弁箱	FCD450-10	⑪	調整ボルト	SUS304
②	弁体	FCD450-10	⑫	キャップ	FC250
③	ゴムシート	CR	⑬	樹脂	エポキシレジ
④	ハブシールリング	CR	⑭	樹脂注入パイプ	SPC又はSGP
⑤	ウエベンボウ	SUS403	⑮	ウメガネ	SUS304
⑥	シタベンボウ	SUS403	⑯	脚	FC250
⑦	軸受ブシュ	オイルレス	⑰	Oリング	NBR
⑧	テーパーピン	SUS420J2	⑱	Oリング	NBR
⑨	Oリングケース	CAC406	⑲	弁体シールリング	SUS304
⑩	ボトムカラー	FCD450-10			

NS形充水機能付バタフライ弁 参考図②(φ600)

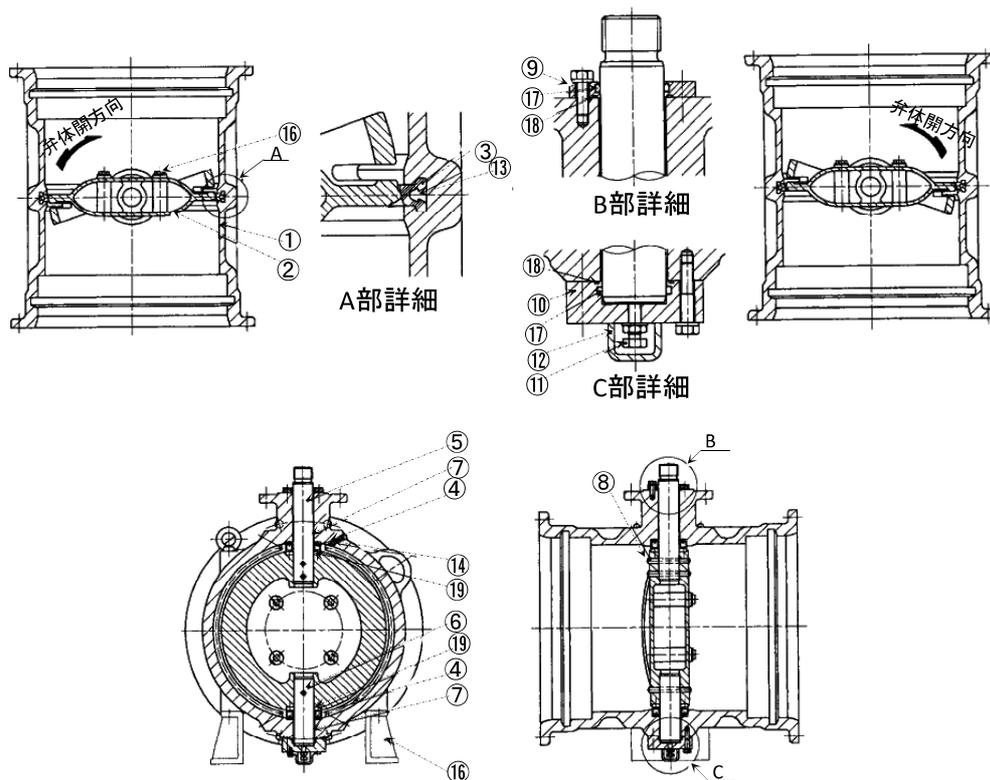


番号	部品名称	材料	番号	部品名称	材料
①	ケース	FCD450-10	⑮	オイルシール	
②	ディスク	FCD450-10	⑯	オイルシール	
③	アウターギヤ	SCM435	⑰	Oリング	NBR
④	ギヤピン	SCM435	⑱	Oリング	NBR
⑤	軸受キャップ	S45C-N	⑲	Oリング	NBR
⑥	シャフト	SUS403	⑳	Oリング	NBR
⑦	スリーブ	CAC702	㉑	C形止め輪 (穴用)	SK5
⑧	六角穴付止めネジ	SCN435	㉒	インジケータ	SUS304
⑨	シールワッシャ		㉓	スケール	SUS304
⑩	六角ナット	SUS304	㉔	過トルク回避キャップ	SCS13
⑪	六角袋ナット	SUS304	㉕	六角穴付ボルト	SUS304
⑫	ブシュ		㉖	皿ハネ座金	SUS304
⑬	ブシュ		㉗	十字穴付ナベ小ネジ	SUS304
⑭	ブシュ	CAC403	㉘	十字穴付ナベ小ネジ	SUS304

NS形充水機能付バタフライ弁 参考図②(φ700)

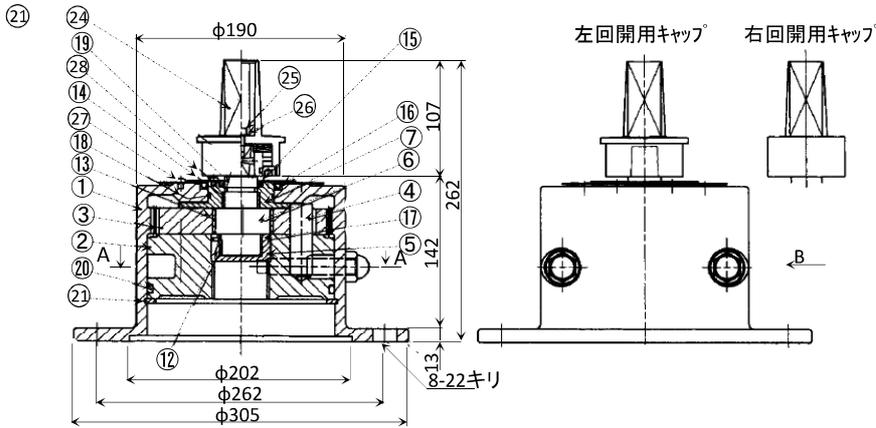
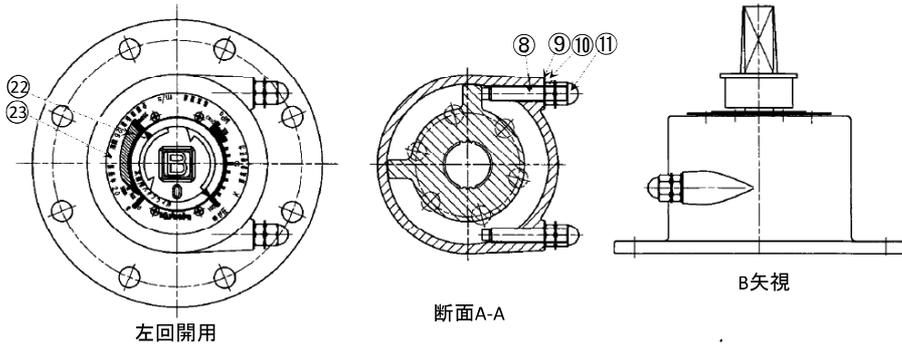


NS形充水機能付バタフライ弁 参考図②(φ700)



番号	部品名称	材料	番号	部品名称	材料
①	弁箱	FCD450-10	⑪	調整ボルト	SUS304
②	弁体	FCD450-10	⑫	キャップ	FC250
③	ゴムシート	CR	⑬	樹脂	エポキシレジ
④	ハブシールリング	CR	⑭	樹脂注入パイプ	SPC又はSGP
⑤	ウエベンボウ	SUS403	⑮	ウメガネ	SUS304
⑥	シタベンボウ	SUS403	⑯	脚	FC250
⑦	軸受ブシュ	オイルレス	⑰	Oリング	NBR
⑧	テーパーピン	SUS420J2	⑱	Oリング	NBR
⑨	Oリングケース	CAC406	⑲	弁体シールリング	SUS304
⑩	ボトムカラー	FCD450-10			

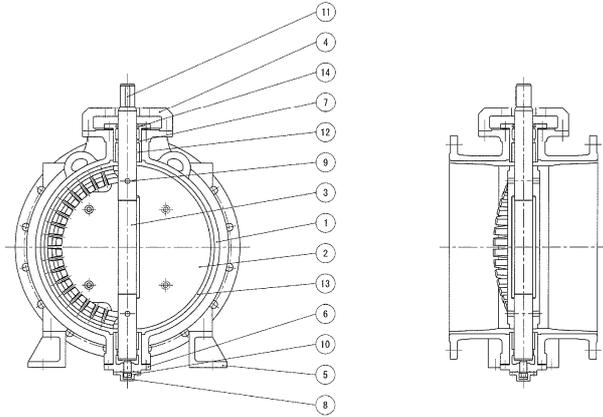
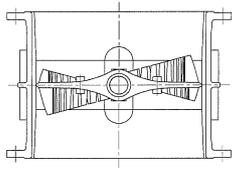
NS形充水機能付バタフライ弁 参考図②(φ700)



番号	部品名称	材料	番号	部品名称	材料
①	ケース	FCD450-10	⑮	オイルシール	
②	ディスク	FCD450-10	⑯	オイルシール	
③	アウターギヤ	SCM435	⑰	Oリング	NBR
④	ギヤピン	SCM435	⑱	Oリング	NBR
⑤	軸受キャップ	S45C-N	⑲	Oリング	NBR
⑥	シャフト	SUS403	⑳	Oリング	NBR
⑦	スリーブ	CAC702	㉑	C形止め輪 (穴用)	SK5
⑧	六角穴付止めネジ	SCN435	㉒	インジケータ	SUS304
⑨	シールワッシャ		㉓	スケール	SUS304
⑩	六角ナット	SUS304	㉔	過トルク回避キャップ	SCS13
⑪	六角袋ナット	SUS304	㉕	六角穴付ボルト	SUS304
⑫	ブシュ		㉖	皿バネ座金	SUS304
⑬	ブシュ		㉗	十字穴付ナベ小ネジ	SUS304
⑭	ブシュ	CAC403	㉘	十字穴付ナベ小ネジ	SUS304

NS形充水機能付バタフライ弁 参考図③-1

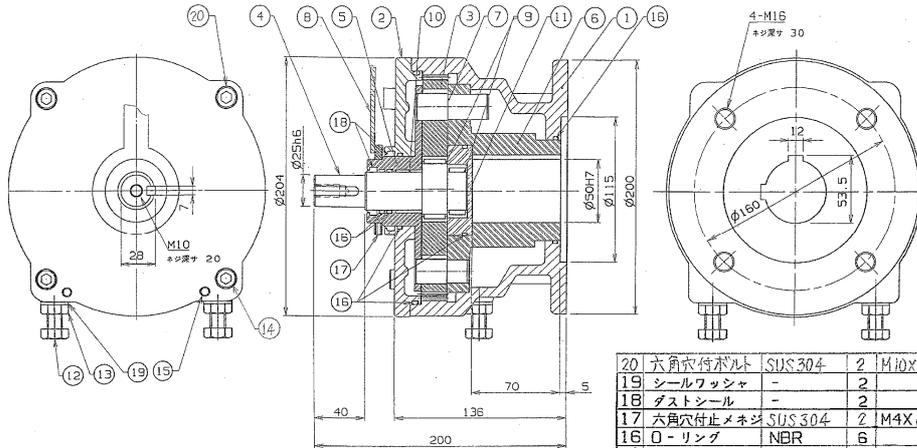
φ500~φ700(構造図)



14	リング	合成ゴム	1	
13	ゴム弁座	合成ゴム	1	
12	軸受	オイルレス	2	
11	キー	S45C	1	
10	弁軸受ボルト	SUS403	1	
9	リーマボルトナット	SUS420J2	2	ナット: SUS304
8	カバー	FCD450-10	1	
7	上軸受押え	FC250	1	
6	下軸受押え	FC250	1	
5	脚	FC250	2	
4	接続台	FC250	1	
3	弁棒	SUS403	1	
2	弁体		1	材質は仕様書を参照下さい。
1	弁箱	FCD450-10	1	
部番	部品名称	材質	数量	摘要

NS形充水機能付バタフライ弁 参考図③-2

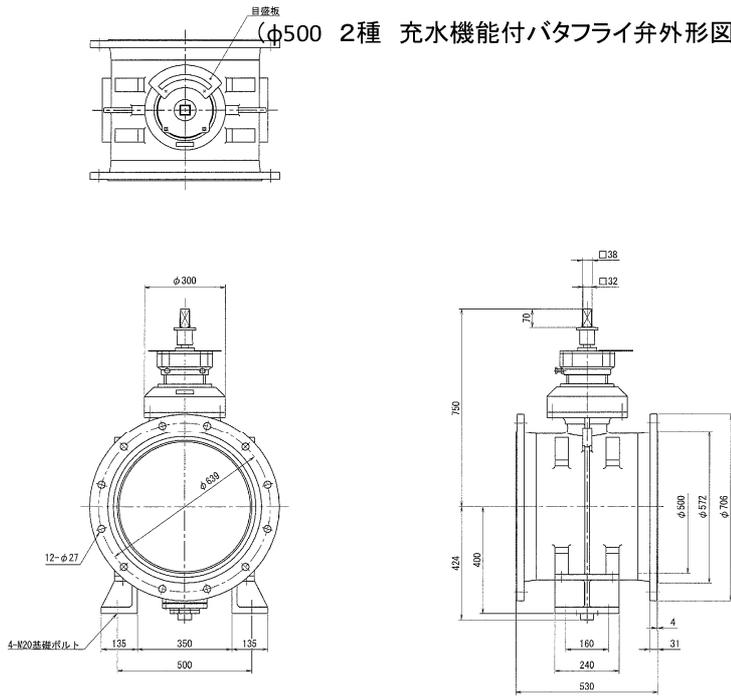
(φ500操作機図)



20	六角穴付ボルト	SUS304	2	M10X35
19	シールワッシャ	-	2	
18	ダストシール	-	2	
17	六角穴付止めネジ	SUS304	2	M4X6
16	O-リング	NBR	6	
15	スプリングピン	SUS	2	
14	六角穴付ボルト	SUS304	2	M10X30
13	六角ナット	SUS304	2	M12
12	六角ボルト	SUS304	2	M12
11	カラ	S45C	1	
10	ブッシュ	-	1	
9	軸受	-	2	
8	インジケータ	SUS304	1	
7	ピン	SCM415	4	
6	出力軸	FCD450-10	1	
5	スリーブ	S45C	1	CNiP
4	入力軸	SUS304	1	タフトライフ
3	エクスターナルギア	S45C	1	
2	ブラケット	FC250	1	
1	ケース	FCD450-10	1	

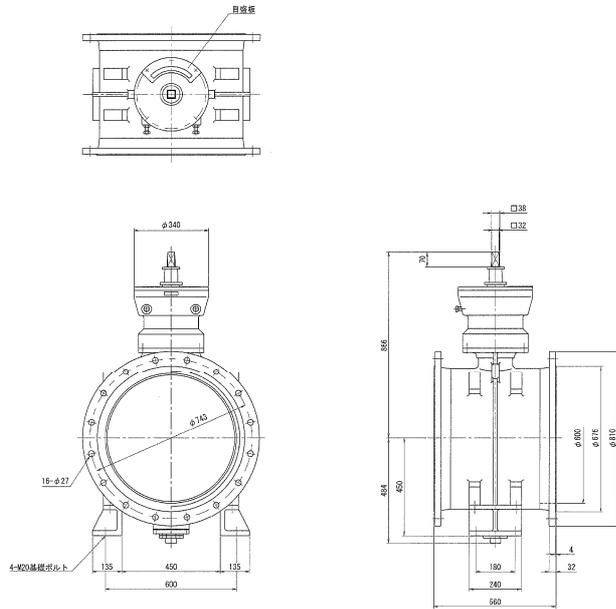
NS形充水機能付バタフライ弁 参考図③-3

(φ500 2種 充水機能付バタフライ弁外形図)



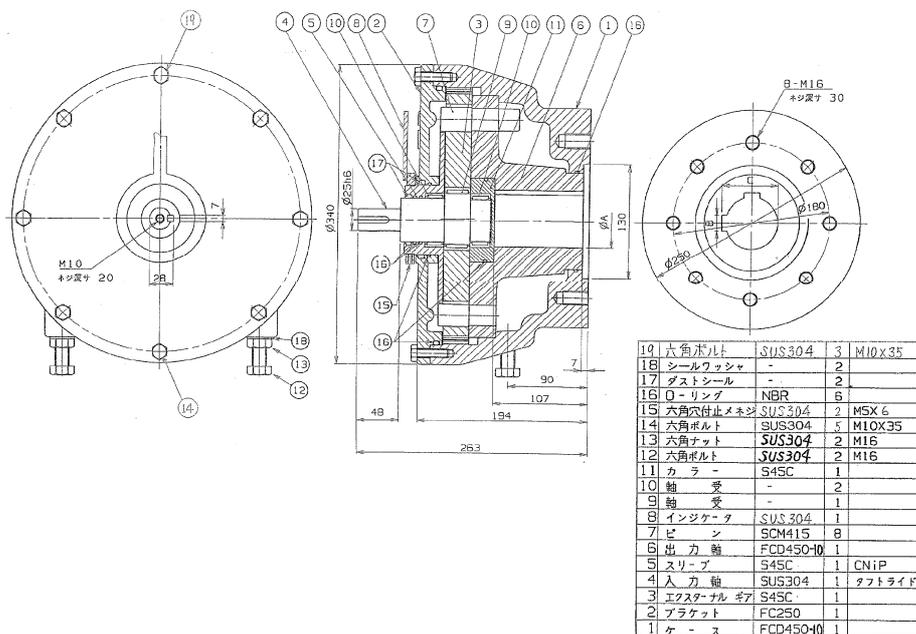
NS形充水機能付バタフライ弁 参考図③-4

(φ600 2種 充水機能付バタフライ弁外形図)



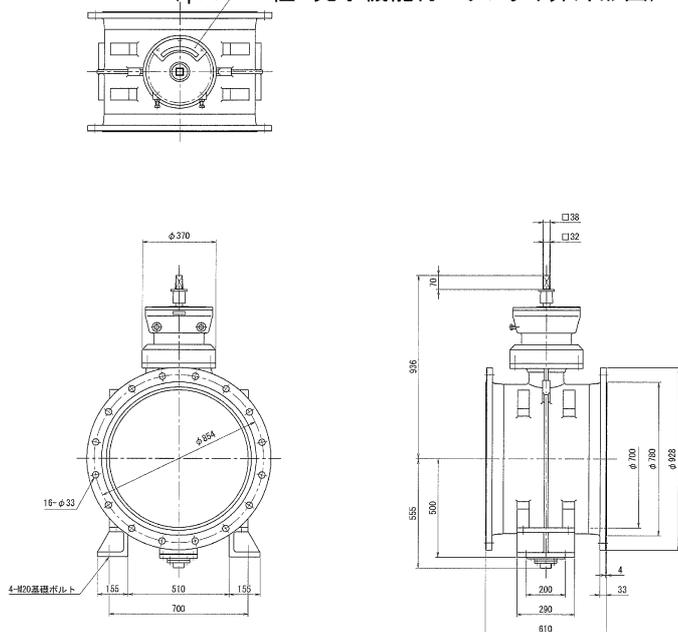
NS形充水機能付バタフライ弁 参考図③-5

(φ600・φ700操作機図)

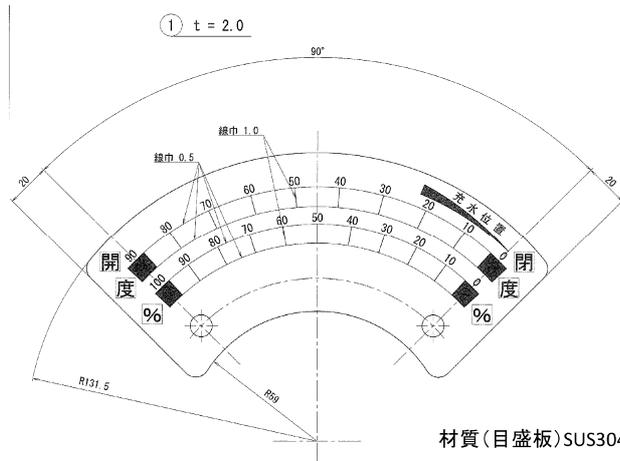


NS形充水機能付バタフライ弁 参考図③-6

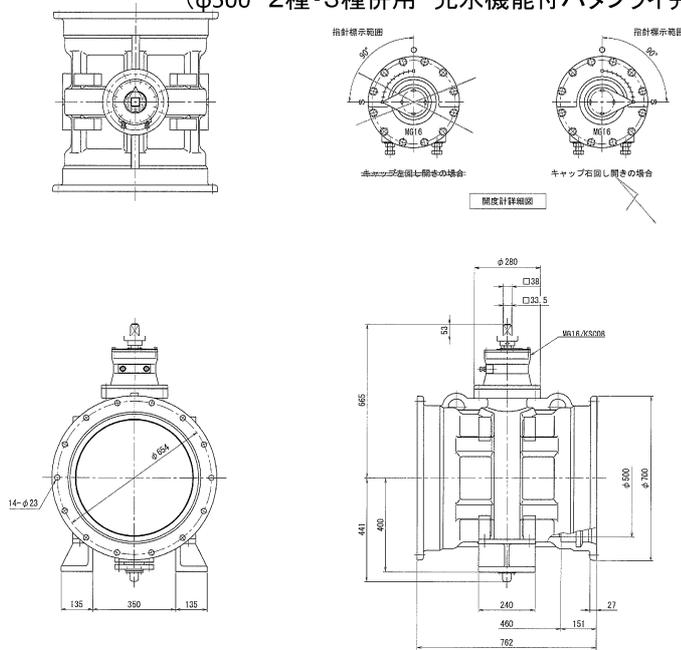
(φ700^{標準}2種 充水機能付バタフライ弁外形図)



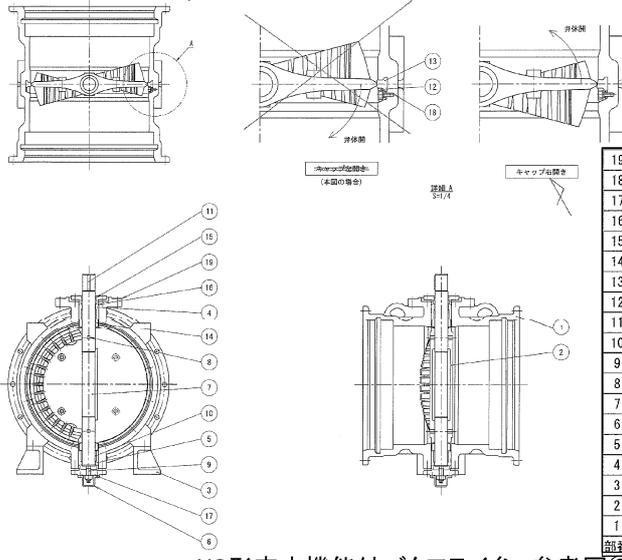
NS形充水機能付バタフライ弁 参考図③-7
(目盛板)



NS形充水機能付バタフライ弁 参考図③-8
(φ500 2種・3種併用 充水機能付バタフライ弁外形図)

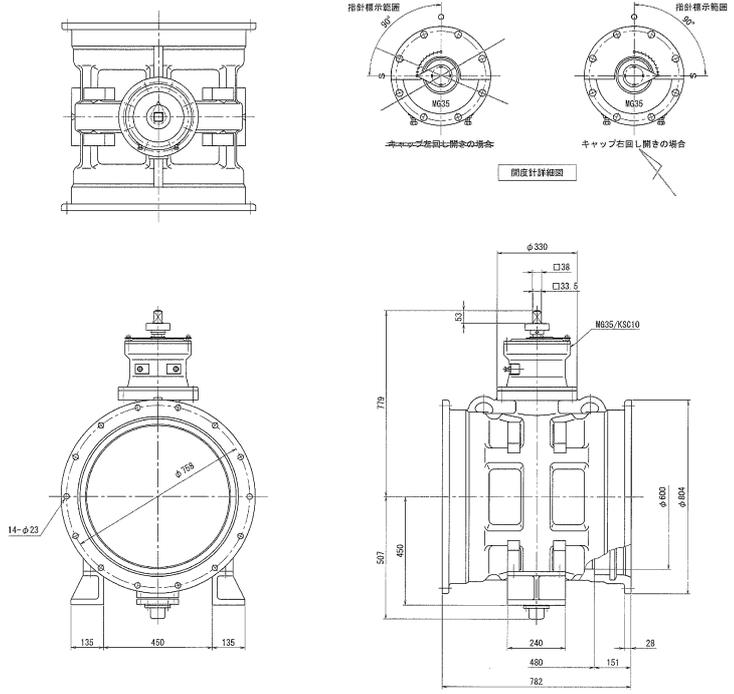


NS形充水機能付バタフライ弁 参考図③-9
 (φ500~700 2種・3種併用 充水機能付バタフライ弁構造図)

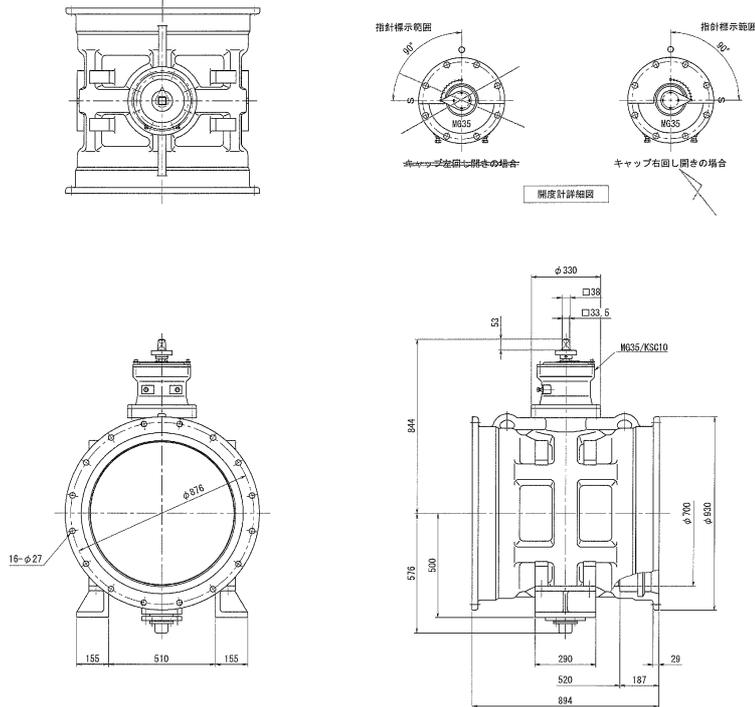


19	ガスケット	ノンアベスト	1	
18	六角穴付ボルト	SUS304	1式	
17	リング	合成ゴム	1	
16	リング	合成ゴム	2	
15	リング	合成ゴム	1	
14	シールリング	CAC406/CR	2	
13	ゴム弁座	合成ゴム	1式	
12	ゴム弁座押え	SCS13	1式	
11	キー	S45C	1	
10	軸受	オイルレス	2	
9	弁軸受ボルト	SUS403	1	
8	リーマボルトナット	SUS420J2	2	ナット：SUS304
7	弁棒	SUS420J2	1	
6	カバー	FC250	1	
5	下軸受押え	FC250	1	
4	上軸受押え	FC250	1	
3	脚	FC250	2	
2	弁体	FCD450-10	1	
1	弁箱	FCD450-10	1	
部品表 部品名称 材質 数量 摘要				

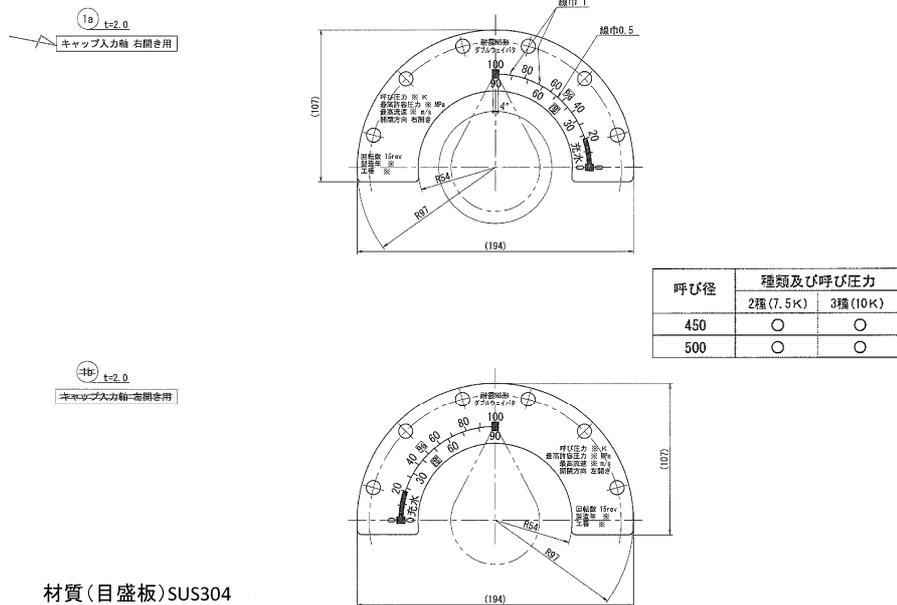
NS形充水機能付バタフライ弁 参考図③-10
 (φ600 2種・3種併用 充水機能付バタフライ弁外形図)



NS形充水機能付バタフライ弁 参考図③-11
 (φ700 2種・3種併用 充水機能付バタフライ弁外形図)



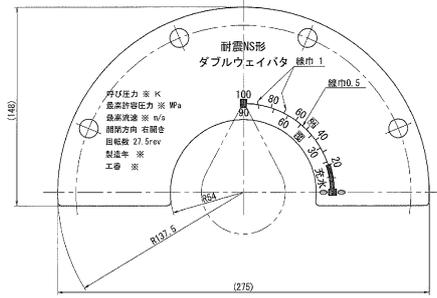
NS形充水機能付バタフライ弁 参考図③-12
 (φ500 2種・3種併用 目盛板)



材質(目盛板) SUS304

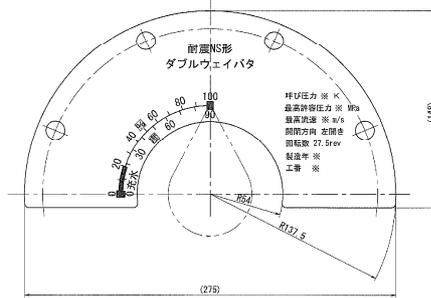
NS形充水機能付バタフライ弁 参考図③-13
 (φ600・φ700 2種・3種併用 目盛板)

⑬ t=2.0
 キャップ入力弁 右開き用



呼び径	種類及び呼び圧力	
	2種 (7.5K)	3種 (10K)
600	○	○
700	○	○

⑭ t=2.0
 キャップ入力弁 左開き用



材質(目盛板)SUS304

2.4 双口消火栓(2弁式)

2.4.1 適用範囲

この節は、使用圧力0.75MPa以下の水道施設に使用する双口消火栓（2弁式）について規程する。なお、双口消火栓（2弁式）とは、JWWA B 103水道用地下式消火栓に規格されている双口消火栓とは構造が異なり（参考図参照）、2個の口金に対し独立した2個の主弁を設け、各々が独りに操作できるようにした2本スピンドル式のことをいう。

2.4.2 種類

消火栓の種類は、表1によることとする。

表1 種類

単位 Mpa

種類	呼び径	呼び圧力	使用圧力	最高許容圧力	全閉時の最大差圧	形式
双口	100	7.5K	0.75	1.3	0.75	2弁式

2.4.3 性能

(1) 操作強度

消火栓の操作強度は2.4.12によって試験を行ったとき、各部に異常があつてはならない。なお、強度試験トルクを加えた前後で、回転数の変化は1/2回転以内でなければならない。

(2) 操作性

消火栓の操作性は、2.4.12によって試験を行ったとき、表2の最大機能試験トルクを超えてはならない。

(3) 耐圧性

消火栓の耐圧性は、2.4.12によって試験を行ったとき、各部に漏れ、その他の異常があつてはならない。

(4) 弁座の止水性

弁座の止水性は、2.4.12によって試験を行ったとき、漏れがあつてはならない。

(5) 作動

消火栓の作動は、2.4.12によって試験を行ったとき、消火栓は円滑に全開及び全閉しなければならない。

2.4.4 構造、形状及び寸法

消火栓の構造、形状及び寸法は次による。

(1) 構図及び形状

消火栓の構造及び形状の一例を参考図に示す。

(2) 主要寸法

消火栓の主要寸法は参考図に示す。

(3) 開閉方法

開閉方向は、左回り開き、右回り閉じとする。

(4) 主要部品の材質

双口消火栓に使用する部品の材料は表1 材料表のとおりとする。

表1 材料表

部品名称	材 料
弁 箱	JIS G 5502のFCD400-15又はFCD450-10
弁 箱 蓋	JIS G 5502のFCD400-15又はFCD450-10
継 足 し 管	JIS G 5502のFCD400-15又はFCD450-10
パッキン箱	JIS G 5502のFCD400-15又はFCD450-10
キャップ	JIS G 5502のFCD400-15又はFCD450-10
弁 体	JIS H 5120のCAC406、CAC411、CAC900又はCAC911
弁 押 え	JIS H 5120のCAC406、CAC411、CAC900又はCAC911
めじこま	a) JIS H 3250のC3771、C6800系又はCAC911 b) JIS H 5120のCAC406、CAC411、CAC900系又はCAC9
弁 棒	a) JIS G 4303又はJIS G 4318のSUS430 b) JIS H 3250のC3771、C6800系又はCAC911 c) JIS H 5120のCAC406、CAC411、CAC900系又はCAC9
口 金	
挿し金具	a) JIS G 3446のSUS304TKA b) JIS G 4303又はJIS G 4318のSUS403
押 し 輪	a) JIS H 3250のCAC406、CAC411、CAC900又はCAC911 b) JIS G 4303のSUS304 c) JIS G 5121のSCS13
フランジ	a) JIS H 3250のC3771、C6800系又はCAC911 b) JIS H 5120のCAC406、CAC411、CAC900又はCAC911 c) JIS G 5121のSCS13
ね じ 輪	JIS H 5120のCAC406、CAC411、CAC900系又はCAC911
止 め 蓋	a) JIS G 5501のFC200 b) JIS G 5502のFCD400-15又はFCD450-10
止 め ね じ	JIS G 4304のSUS304
ガスケット	JIS K 6353のⅢ類75のNBR又はSBR
オ リ ン グ	JIS B 2401-1のNBR
六角ボルト・ナット	JIS G 4303のSUS304
止 め ネ ジ	JIS G 4303のSUS304
弁 座	JWWA K 156のⅢ類75のNBR又はSBR
パ ッ キ ン	JIS B 2401-1のNBR

2.4.5 外観

(1) 塗装前の外観

消火栓の塗装前の外観は、鑄肌の表面が滑らかで、鑄巣、割れ、きず、鑄ばりなどの使用上有害な欠点があってはならない。

(2) 塗装後の外観

消火栓の塗装後の外観は、塗残し、泡、膨れ、剥離、異物の付着、著しい塗りだまり、その他有害な欠点があってはならない。

2.4.6 材料

消火栓の材料は、通常の使用及び施工に十分耐えられるだけの強度及び耐久性をもち、かつ、水質に悪影響を及ぼさないものとする。また口径の差し金具の材質は、ステンレス製とする。

2.4.7 塗装

(1) 一般

消火栓の塗装は、異物の混入塗りむら、ピンホール、塗漏れなどの欠点がなく、表面が滑らかで均一な塗膜が得られるようにする。

(2) 塗料

塗料は、水道用塗料として必要な物性を備えるもので次による。

1) 内面塗料

内面に塗装する塗料は、JWWA G 112の水道用エポキシ樹脂紛体塗料とする。

2) 外面塗料

外面に塗装する塗料は、JWWA G 112の水道用エポキシ樹脂紛体塗料とする。

2.4.8 塗装方法

被塗装面の前処理

水道用エポキシ樹脂紛体塗装を塗料とする場合は、JWWA B 112の6.1（被塗装面の前処理）にするほか、被塗装面の前処理はブラスト処理を行うこととし、塗装は通常、前処理後6時間以内に行うものとする。

2.4.9 塗装の厚さ

塗装の厚さは次による。

(1) 内面塗装の厚みは0.3mm以上とする。ただし、合わせ面、はめ合い部及びしゅう動部は除く。

(2) 外面塗装の厚みは0.3mm以上とする。ただし、合わせ面、はめ合い部及びしゅう動部は除く。

2.4.10 塗装の検査

塗装の検査は次による。

水道用エポキシ樹脂紛体塗装を塗装した場合は、JWWA G 112の7.2.2（外観）、7.2.3（ピンホール）、7.2.5（厚さ）及びJWWA B 103の附属書Aによって試験を行い、外観及びピンホールはJWWA G 112の7.1（管の塗膜の品質）、厚さは本仕様の2.4.9、鉛筆引っかきはJWWA B 103の附属書A.5に適合しなければならない。

2.4.11 手直し

2.4.10の結果、軽微な欠陥については、発注者の承認を得て手直しを行う。

2.4.12 試験方法

- (1) 消火栓の外観及び形状
消火栓の外観及び形状は、目視によって調べる。
- (2) 寸法及び回転数
消火栓の寸法は、JIS B 7502のマイクロメータ、JIS B 7507のノギス、JIS B 7512の鋼製巻尺、JIS B 7516の金属製真尺、又はこれらと同等以上の精度をもつ計測器によって測定する。回転数は、弁体の全行程に対するキャップの回転数を測定する。この場合、全開、全閉位置は、キャップに表2の最大機能試験トルクを加えた位置とする。

表2 試験トルク 単位 N・m

種類	単位 N・m
強度試験トルク	210
最大機能試験トルク	70

- (3) 強度試験
消火栓の強度試験は、全閉時に表1の全閉時の最大差圧を加えた状態及び全開の状態において、キャップに表2の強度試験トルクを加える
- (4) 機能試験
消火栓の機能試験は、消火栓の全開から全閉の間を往復操作し、その行程について操作トルクを測定する。
- (5) 消火栓の耐圧試験
消火栓の耐圧試験は、適当な装置によって接続部のフランジを固定し、ホース結合部は密閉ができる蓋を取り付けた上、消火栓を開いた状態で1.75MPaの水圧を加えて30秒以上保持する。この場合、ホース結合部の一方は、消火栓の止め蓋を使用して密閉する。
- (6) 弁座漏れ試験
消火栓の弁座漏れ試験は、消火栓を閉じ、下方から1.3MPaの水圧を加えて30秒以上保持する。なお、このときの消火栓の締付けトルクは、表2の最大機能試験トルク値を超えてはならない。
- (7) 作動試験
消火栓の作動試験は、消火栓を組み立てた状態で、全開及び全閉作業を行う。

2.4.13 形式試験

消火栓の形式試験は、製造業者の製作図、製作基準書及び2.4.4、2.4.6に適合していることを確認した上で、2.4.12(1)～(7)の試験を行い、2.4.3(1)～(5)及び2.4.5に適合しなければならない。なお、製造業者は試験結果を記録、保存し、発注者の要求がある場合は提出しなければならない。

2.4.14 検査

バルブの検査は、次の項目について行い、2.4.3～2.4.7に適合しなければならない。

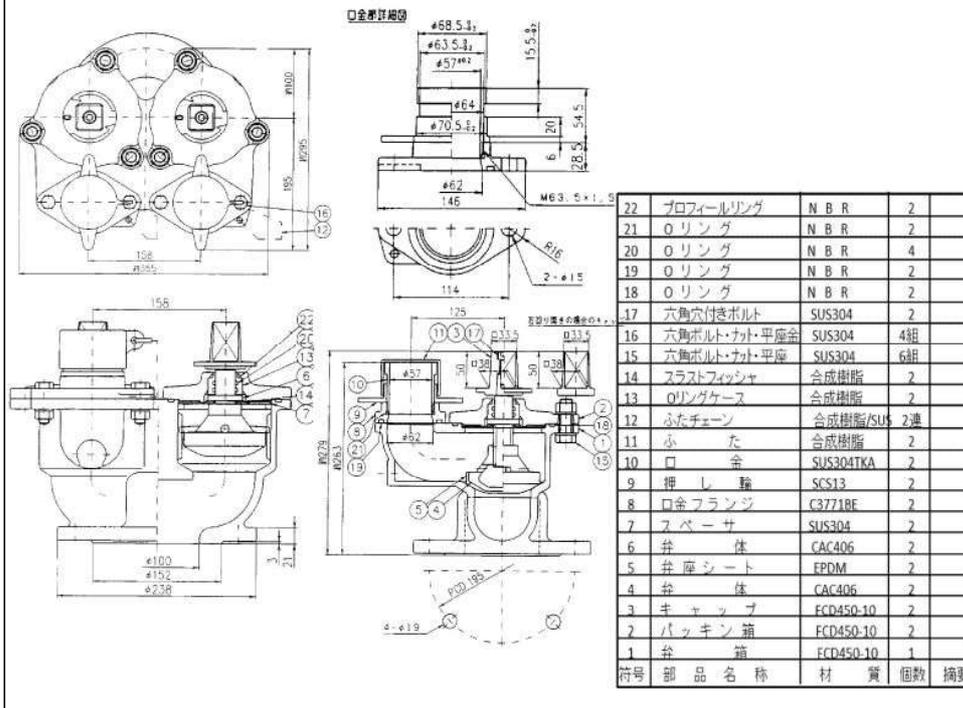
- (1) 外観
- (2) 構造及び形状
- (3) 寸法
- (4) 材料
- (5) 消火栓の耐圧
- (6) 弁座漏れ
- (7) 作動
- (8) 塗装
- (9) 表示

2.4.15 表示

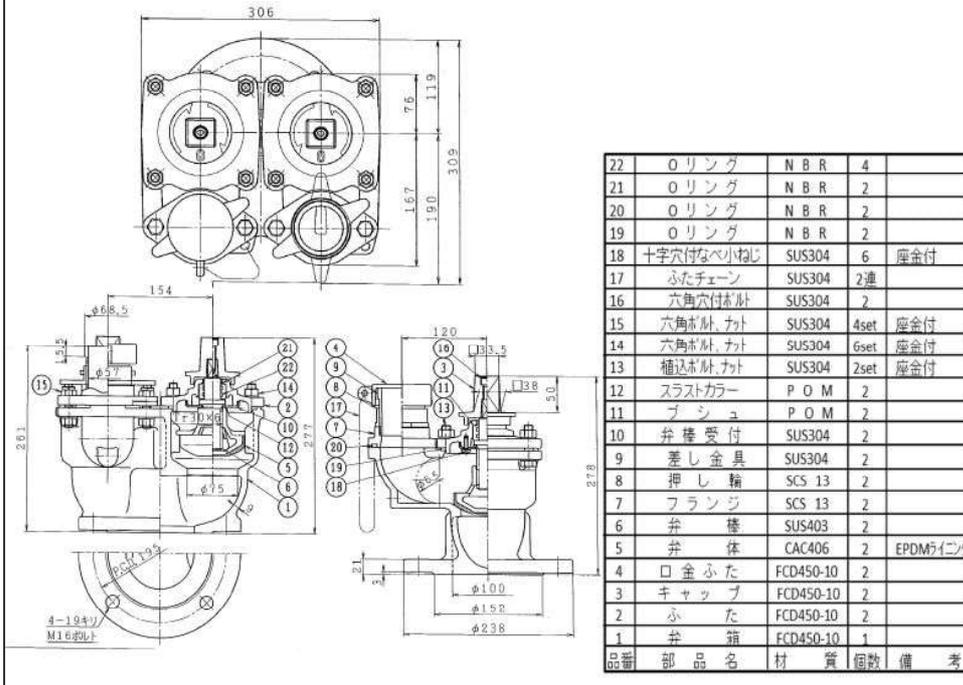
消火栓の表示は、次による。

- (1) 鋳出し表示
弁箱の外側の一定の場所に、次の項目を明瞭に鋳出しする。
 - ① 水の記号
 - ② 刻印座
 - ③ 呼び径
 - ④ 製造業者名又はその略号
 - ⑤ 球状黒鉛鋳鉄品の記号D
- (2) 消火栓の製造年又はその略号は、弁箱の外側の一定の場所に、容易に消えない方法で明示しなければならない。
- (3) 口金には、外側の一定の場所に、水の記号及び製造業者の略号を打刻する。なお、双口の止め蓋には見易い場所に、取外しの回転方向を明示する。

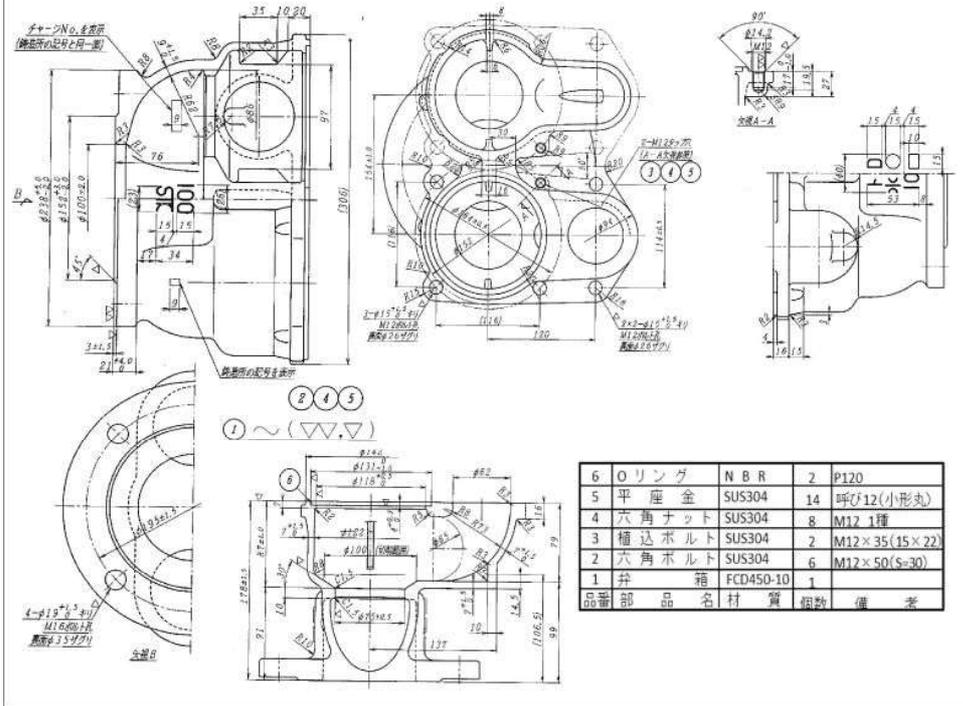
参考図 双口消火栓(2弁式)-1



参考図 双口消火栓(2弁式)-2.1



参考図 双口消火栓(2弁式)-2. 2



6	Oリング	NBR	2	P120
5	平座金	SUS304	14	呼び12(小形丸)
4	六角ナット	SUS304	8	M12 1種
3	桶込ボルト	SUS304	2	M12×35(15×22)
2	六角ボルト	SUS304	6	M12×50(S=30)
1	弁箱	FCD450-10	1	
品番	部品名	材質	個数	備考

2.5 洗浄栓

2.5.1 適用範囲

洗浄栓（以下、「栓」という。）は、使用圧力0.75MPa以下の配水管50mmの単（枝）管路に設置する排水施設について規定する。

2.5.2 種類

栓の種類は、表1によることとする。

種類	呼び径	呼び圧力	使用圧力	最高許容圧力	フランジ規格
単口	50	7.5K	0.75	1.3	JIS10K

2.5.3 性能

- (1) 操作強度
栓の操作強度は2.5.12によって試験を行ったとき、各部に異常があつてはならない。なお、強度試験トルクを加えた前後で、回転数の変化は1/2回転以内でなければならない。
- (2) 操作性
栓の操作性は、2.5.12によって試験を行ったとき、表2の最大機能試験トルクを超えてはならない。
- (3) 耐圧性
栓の耐圧性は、2.5.12によって試験を行ったとき、各部に漏れ、その他の異常があつてはならない。
- (4) 弁座の止水性
弁座の止水性は、2.5.12によって試験を行ったとき、漏れがあつてはならない。
- (5) 作動
栓の作動は、2.5.12によって試験を行ったとき、消火栓は円滑に全開及び全閉しなければならない。

2.5.4 構造、形状及び寸法

消火栓の構造、形状及び寸法は次による。

- (1) 構図及び形状
栓の構造及び形状の一例を参考図に示す。
- (2) 主要寸法
栓の主要寸法は参考図に示す。
- (3) 開閉方法
開閉方向は、左回り開き、右回り閉じとする。
- (4) 主要部品の材質
栓に使用する部品の材料は表2 材料表のとおりとする。

表2 材料表

部品名称	材 料
弁 箱	JIS G 5502のFCD400-15又はFCD450-10
弁 箱 蓋	JIS G 5502のFCD400-15又はFCD450-10
継 足 し 管	JIS G 5502のFCD400-15又はFCD450-10
パッキン箱	JIS G 5502のFCD400-15又はFCD450-10
キャップ	JIS G 5502のFCD400-15又はFCD450-10
弁 体	JIS H 5120のCAC406、CAC411、CAC900又はCAC911
弁 押 え	JIS H 5120のCAC406、CAC411、CAC900、CAC911又はC3604B
めじこま	a) JIS H 3250のC3771、C6800系又はCAC911 b) JIS H 5120のCAC406、CAC411、CAC900系又はCAC911
弁 棒	a) JIS G 4303又はJIS G 4318のSUS430 b) JIS H 3250のC3771、C6800系又はCAC911 c) JIS H 5120のCAC406、CAC411、CAC900系又はCAC911
□ 金 具	
押し金具	a) JIS G 3446のSUS304TKA b) JIS G 4303又はJIS G 4318のSUS403
押し輪	a) JIS H 3250のCAC406、CAC411、CAC900又はCAC911 b) JIS G 4303のSUS304 c) JIS G 5121のSCS13
フランジ	a) JIS H 3250のC3771、C6800系又はCAC911 b) JIS H 5120のCAC406、CAC411、CAC900又はCAC911 c) JIS G 5121のSCS13
ねじ輪	JIS H 5120のCAC406、CAC411、CAC900系又はCAC911
止め蓋	a) JIS G 5501のFC200 b) JIS G 5502のFCD400-15又はFCD450-10
止めねじ	JIS G 4304のSUS304
ガスケット	JIS K 6353のⅢ類75のNBR又はSBR
オリング	JIS B 2401-1のNBR
六角ボルト・ナット	JIS G 4303のSUS304
止めネジ	JIS G 4303のSUS304
弁 座	JWWA K 156のⅢ類75のNBR又はSBR
パッキン	JIS B 2401-1のNBR
注意1	CAC900系とは、ピスマス青銅積物をいれ、CAC902又はCAC904とする。
注意2	C6800系とは、ピスマス系レス・カドミウムレス快削黄銅をいれ、C6801

2.5.5 外観

(1) 塗装前の外観

栓の塗装前の外観は、鑄肌の表面が滑らかで、鑄巣、割れ、きず、鑄ばりなどの使用上有害な欠点があってはならない。

(2) 塗装後の外観

栓の塗装後の外観は、塗残し、泡、膨れ、剥離、異物の付着、著しい塗りだまり、その他有害な欠点があってはならない。

2.5.6 材料

栓の材料は、通常の使用及び施工に十分耐えられるだけの強度及び耐久性をもち、かつ、水質に悪影響を及ぼさないものとする。また口径の差し金具の材質は、ステンレス製とする。

2.5.7 塗装

(1) 一般

栓の塗装は、異物の混入塗りむら、ピンホール、塗漏れなどの欠点がなく、表面が滑らかで均一な塗膜が得られるようにする。

(2) 塗料

塗料は、水道用塗料として必要な物性を備えるもので次による。

1) 内面塗料

内面に塗装する塗料は、JWWA G 112の水道用エポキシ樹脂粉体塗料とする。

2) 外面塗料

外面に塗装する塗料は、JWWA G 112の水道用エポキシ樹脂粉体塗料とする。

2.5.8 塗装方法

被塗装面の前処理

水道用エポキシ樹脂粉体塗装を塗料とする場合は、JWWA B 112の6.1（被塗装面の前処理）にするほか、被塗装面の前処理はブラスト処理を行うこととし、塗装は通常、前処理後6時間以内に行うものとする。

2.5.9 塗装の厚さ

塗装の厚さは次による。

(1) 内面塗装の厚みは0.3mm以上とする。ただし、合わせ面、はめ合い部及びしゅう動部は除く。

(2) 外面塗装の厚みは0.3mm以上とする。ただし、合わせ面、はめ合い部及びしゅう動部は除く。

2.5.10 塗装の検査

塗装の検査は次による。

水道用エポキシ樹脂粉体塗装を塗装した場合は、JWWA G 112の7.2.2（外観）、7.2.3（ピンホール）、7.2.5（厚さ）及びJWWA B 103の附属書Aによって試験を行い、外観及びピンホールはJWWA G 112の7.1（管の塗膜の品質）、厚さは本仕様の2.4.9、鉛筆引っかきはJWWA B 103の附属書A.5に適合しなければならない。

2.5.11 手直し

2.5.10の結果、軽微な欠陥については、発注者の承認を得て手直しを行う。

2.5.12 試験方法

- (1) 栓の外観及び形状
栓の外観及び形状は、目視によって調べる。
- (2) 寸法及び回転数
栓の寸法は、JIS B 7502のマイクロメータ、JIS B 7507のノギス、JIS B 7512の鋼製巻尺、JISB 7516の金属製真尺、又はこれらと同等以上の精度をもつ計測器によって測定する。回転数は、弁体の全行程に対するキャップの回転数を測定する。この場合、全開、全閉位置は、キャップに表2の最大機能試験トルクを加えた位置とする。

表2 試験トルク 単位 N・m

種類	双口
強度試験トルク	159
最大機能試験トルク	53

- (3) 強度試験
栓の強度試験は、全閉時に表1の全閉時の最大差圧を加えた状態及び全開の状態において、キャップに表2の強度試験トルクを加える
- (4) 機能試験
栓の機能試験は、栓の全開から全閉の間を往復操作し、その行程について操作トルクを測定する。
- (5) 栓の耐圧試験
栓の耐圧試験は、適当な装置によって接続部のフランジを固定し、ホース結合部は密閉ができる蓋を取り付けた上、栓を開いた状態で1.75MPaの水圧を加えて30秒以上保持する。この場合、ホース結合部の一方は、栓の止め蓋を使用して密閉する。
- (6) 弁座漏れ試験
栓の弁座漏れ試験は、栓を閉じ、下方から1.3MPaの水圧を加えて30秒以上保持する。なお、このときの栓の締付けトルクは、表2の最大機能試験トルク値を超えてはならない。
- (7) 作動試験
栓の作動試験は、栓を組み立てた状態で、全開及び全閉作業を行う。

2.5.13 形式試験

栓の形式試験は、製造業者の製作図、製作基準書に適合していることを確認した上で、2.5.12(1)～(7)の試験を行い、2.5.3(1)～(5)及び2.5.5に適合しなければならない。

2.5.14 検査

栓の検査は、次の項目について行い、2.5.3～2.5.7に適合しなければならない。

- (1) 外観
- (2) 構造及び形状
- (3) 寸法
- (4) 材料
- (5) 栓の耐圧
- (6) 弁座漏れ
- (7) 作動
- (8) 塗装
- (9) 表示

2.5.15 表示

栓の表示は、次による。

- (1) 鋳出し表示
弁箱の外側の一定の場所に、次の項目を明瞭に鋳出しする。
 - ①  の記号
 - ② 刻印座
 - ③ 呼び径
 - ④ 製造業者名又はその略号
 - ⑤ 球状黒鉛鑄鉄品の記号D
- (2) 消火栓の製造年又はその略号は、弁箱の外側の一定の場所に、容易に消えない方法で明示しなければならない。
- (3) 口金には、外側の一定の場所に、 の記号及び製造業者の略号を打刻する。

2. 6 S50形ソフトシール仕切弁(受挿し式)

2. 6. 1 適用範囲

この節では呼び径50のS50形ソフトシール仕切弁（受挿し式）（以下、「弁」という。）について規定する。

2. 6. 2 継手形状

継手形式はS50形ダクタイル鋳鉄管継手JDPA G 1052によるものとする。

2. 6. 3 使用圧力

S50形ソフトシール仕切弁の最高使用圧力は1. 0MPaとする。

2. 6. 4 最高許容圧力

S50形ソフトシール仕切弁の最高許容圧力は1. 3MPaとする。

2. 6. 5 操作時最大差圧

S50形ソフトシール仕切弁の操作時最大差圧は1. 0Mpaとする。

2. 6. 6 性能試験

(1) 作強度

バルブの操作強度は強度試験トルクを180N・m、最大昨日試験トルクを60N・mで試験し、異常があってはならない。強度試験トルクを加えた前後で、回転数の変化は1/2回転以内でなければならない。

(2) 操作性

バルブの操作性は、バルブの全開から全閉の往復操作し、その行程において操作トルクを測定し、最大機能試験トルクを超えてはならない。

(3) 弁箱耐圧試験

S50形ソフトシール仕切弁の弁箱耐圧試験は2. 3Mpaの水圧を60秒間以上保持することとし、異常がないことを確認すること。

(4) 弁座漏れ試験

S50形ソフトシール仕切弁の弁座漏れ試験は1. 0Mpaの水圧を加え15秒以上保持し、当該試験箇所から漏れがないことを確認すること。

(5) 作動

動試験は、バルブを組み立てた状態で、全開及び全閉を行ったとき、円滑に全開及び全閉しなければならない。

- (6) パッキンの交換
パッキンは全開状態で使用圧力に等しい水圧を加え、パッキンの取替えができなければならない。このときバルブ内部からの漏れは、取替作業に支障のない程度でなければならない。
- (7) 耐久性
バルブの耐久性は、全閉時にゴム弁座へ止水に必要な圧縮が与えられ、かつ、弁体が片側に最大差圧に等しい圧力をうける状態で、全開・全閉作動を500回行う。
- (8) 継手性能
S50形のバルブの継手性能については、JDKA G 1052による。
- (9) 浸出性
バルブの進出性はJWWA B 120附属書Aによること。
- (10) 弁体ゴムの耐塩素性
バルブの耐塩素性はJWWA B 120附属書Dによること。

2.6.7 外観

バルブの塗装前の外観は、鋳肌の表面が滑らかで、鋳巣、割れ、きず、鋳ばりなどの使用上有害な欠点があってはならない。

2.6.8 材料

バルブの材料は、通常の使用及び施工に耐えられるだけの強度及び耐久性をもち、かつ、水質に悪影響を及ぼさないものとする。

2.6.9 塗装

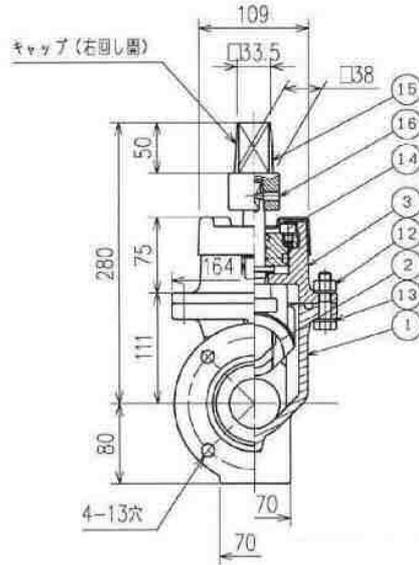
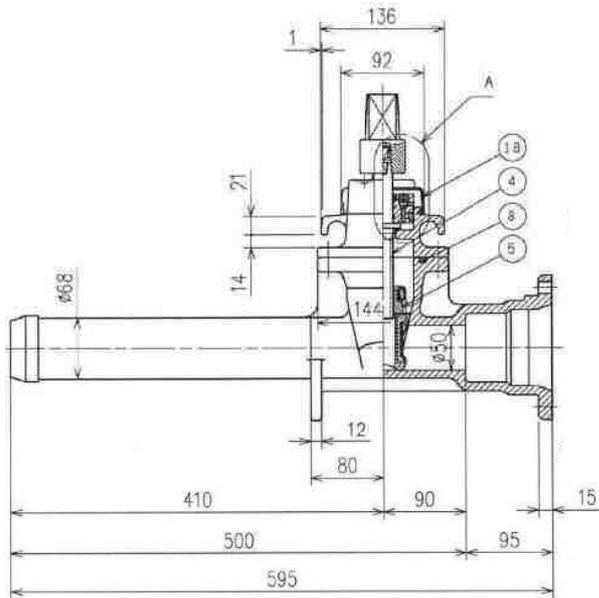
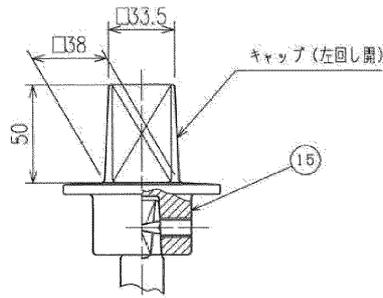
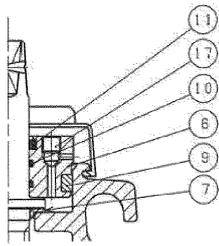
バルブの塗装は、異物の混入、塗りむら、ピンホール、塗漏れなどの欠点がなく、表面が滑らかで均一な塗膜が得られるようにする。

2.6.10 鋳出し表示

バルブの表示は次による。バルブの製造年またはその略号は弁箱の外側の一定の場所に、容易に消えない方法で明示しなければならない。

- (1) 水の記号
- (2) 刻印座
- (3) 呼び径
- (4) 呼び圧力
- (5) 製造業者名又はその略号
- (6) 球状黒鉛鋳鉄品の記号 D
- (7) 接合形式の記号 S50

参考図



No	部品名称	材 料	個 数	備 考
1	弁 箱	FCD450-10	1	
2	弁 体	FCD450-10	1	EPDM
3	弁 蓋	FCD450-10	1	
4	弁 棒	SUS403	1	
5	メネジコマ	C3771	1	
6	ブッシュ	C3771	1	
7	スラストカラー	ジュラコン	1	
8	ガスケット	N B R	1	
9	Oパッキン	N B R	1	
10	O リ ン グ	N B R	2	
11	ガスシール	N B R	1	
12	六角ボルト・ナット	SUS304	4s	
13	ワッシャー	SUS304	8	
14	六角穴付ボルト	SUS304	2	
15	キャップ	FCD450-10	1	
16	六角穴付止めねじ	SUS304	1	
17	プラグ	SUS304	1	
18	保護カバー	PE	1	

3 その他材料

3.1 フランジ継手補強金具

3.1.1 適用範囲

この仕様は水圧0.75Mpa以下のJWWA G 114 水道用ダクタイル鋳鉄管における7.5Kフランジ接合部の補強に使用するフランジ継手補強金具について規定する。

3.1.2 適用規格

規 格	材 料
本 体 (本体塗装)	JIS G 5502 球状黒鉛鋳鉄品のFCD450-10を使用する。 (JWWA K 1 3 9 水道用ダクタイル鋳鉄管合成樹脂塗装)
六角ボルト・ナット等 ※黒鉛の球状化率は8 0%以下のもの。	JIS G 4303 ステンレス鋼棒 (SUS304) 又は JIS G 4308 ステンレス鋼線材 (SUS304J3) 又は JIS G 5121 ステンレス鋼鋳鋼品のSUS 1 3を使用す

3.1.3 離脱防止性能

4(1)または、(2)、(3)に示す試験方法により、破損、漏水等の異常がないこと。

3.1.4 性能試験

性能試験を行うにあたり、参考図面1/4及び2/4の製品は(1)の性能試験を行い、参考図面3/4及び4/4の製品は(2)、(3)性能及び水圧試験を行うこととする。

(1) 離脱阻止性能試験

図-1に示す試験方法により、フランジ継手部にフランジ継手補強金具を取り付け、油圧シリンダーで引張荷重(3DkN)を負荷する。

なお、配管内は充水状態とする。

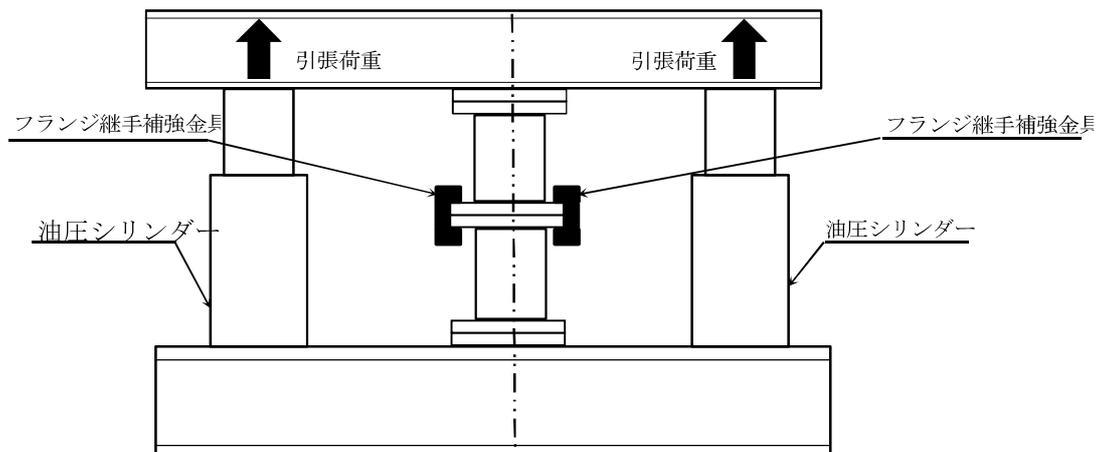


図1 引張試験

(2) 引抜性能試験

図-2のようにSUS304製の六角ボルト・ナットを標準の締付けトルクにて真直状態に接合したフランジ継手部に、フランジ継手補強金具を設置、フランジ継手補強金具の操作ナットを締付けた後、六角ボルト・ナットを標準の締付けトルクで再度締め付ける。油圧シリンダーにて管に表1の引張荷重まで徐々に負荷し、供試品に破損等異常がないか確認する。

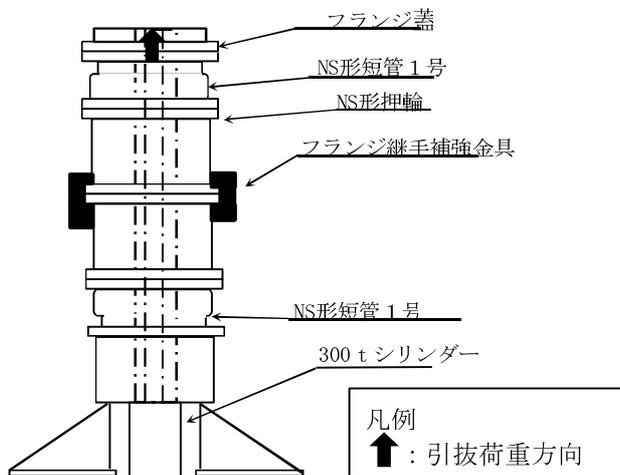
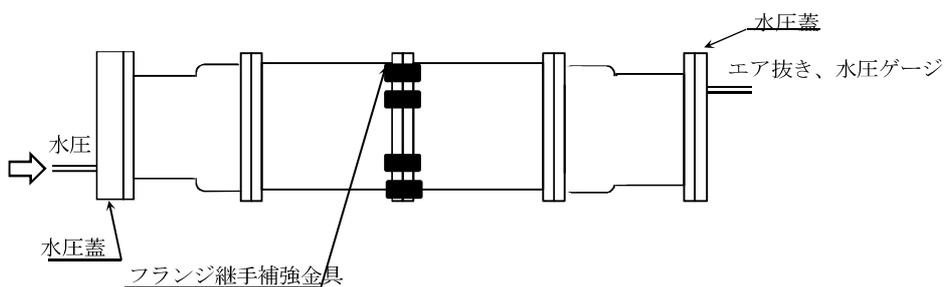


表-1 引抜荷重

呼び径 (mm)	引抜荷重
75	225
100	300
150	450
200	600
250	750
300	900
350	1050
400	1200
450	1350
500	1500

(3) 引抜後水圧試験

(2)の引抜試験後、図-3のように配置し、水圧を1.75MPaまで加圧後、5分間保持し、漏水等の異常が無いか確認する。



(4) 試験結果

(1)の試験を行った場合は表-2、(2)及び(3)の試験を行った場合は表-3の試験結果を満たさなければならない。

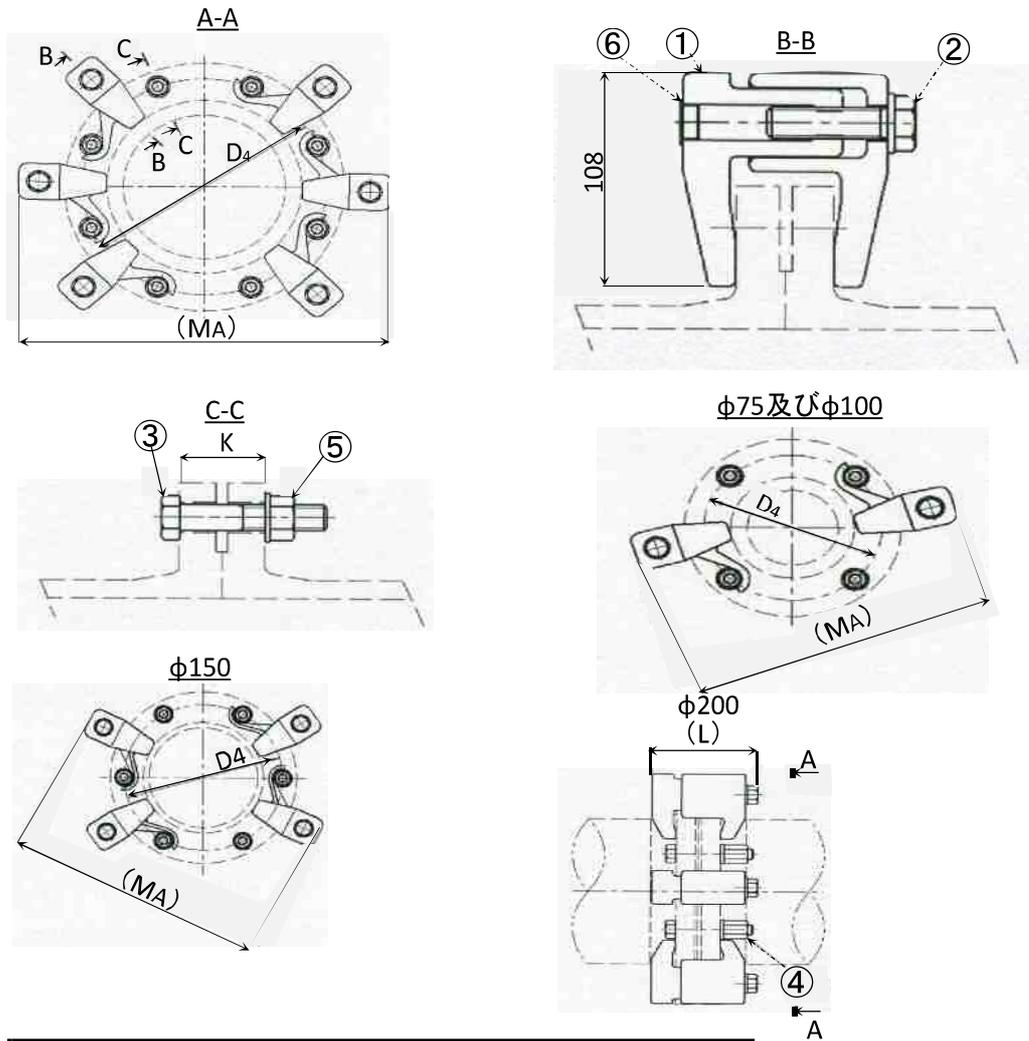
表2 試験結果

口径	引張荷重	フランジ継手補強金具設置数	試験結果
75	225 kN	2個	異常なし
100	300 kN	2個	
150	450 kN	4個	
200	600 kN	6個	
250	750 kN	6個	
300	900 kN	8個	
350	1050 kN	8個	
400	1200 kN	10個	

表3 試験結果

試験項目	口径	試験条件	試験結果
(2) 引抜性能試験	75	引抜荷重225 kN (3D kN)	異常なし
	100	引抜荷重300 kN (3D kN)	
	150	引抜荷重450 kN (3D kN)	
	200	引抜荷重600 kN (3D kN)	
	250	引抜荷重750 kN (3D kN)	
	300	引抜荷重900 kN (3D kN)	
	350	引抜荷重1050 kN (3D kN)	
	400	引抜荷重1200 kN (3D kN)	
	450	引抜荷重1350kN (3DkN)	
	500	引抜荷重1500kN (3DkN)	
(3) 引抜後水圧試験	75	水圧 1.75 Mpa 5分間保持	異常なし
	100		
	150		
	200		
	250		
	300		
	350		
	400		
	450		
500			

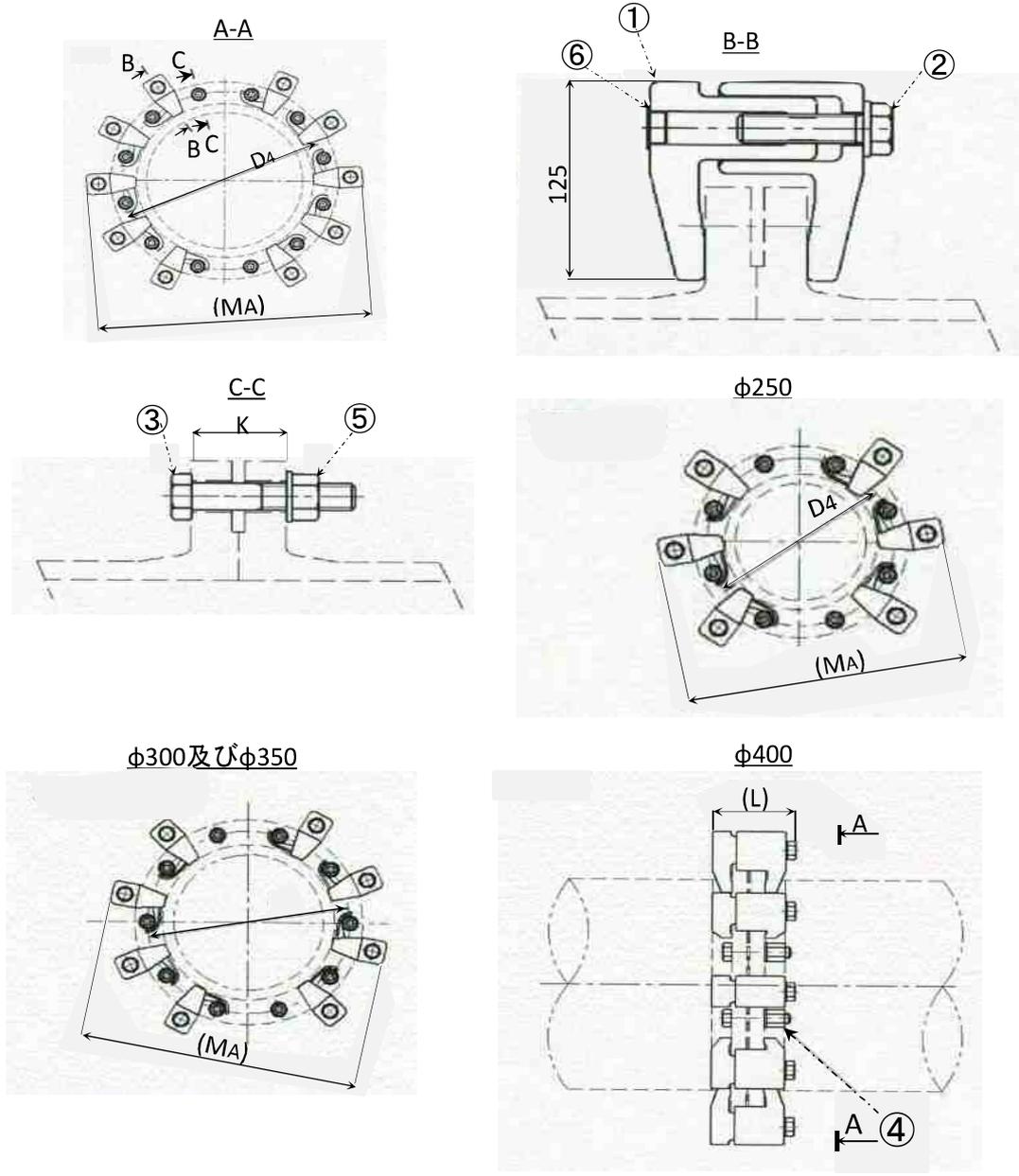
フランジ継手補強金具 参考図 1/4



番号	品名	数量	材質	摘要
1	本体	N	FCD450-10	本体 (2片で1組)
2	全ねじ六角ボルト・平座金	N	SUS304J3又は SUS304	六角ボルト ・ナット等
3	六角ボルト・平座金	N'	SUS304J3又は SUS304	
4	高ナット	N	SUS304	
5	六角ナット	2	SUS304	
6	キャップ	N	高密度ポリエチレン	

呼び径	D4	L	MA	N	N'	③六角ボルト
75	168	108	326	2	4	M16×75
100	195	108	352	2	4	M16×75
150	247	110	404	4	6	M16×75
200	299	112	455	6	8	M16×80

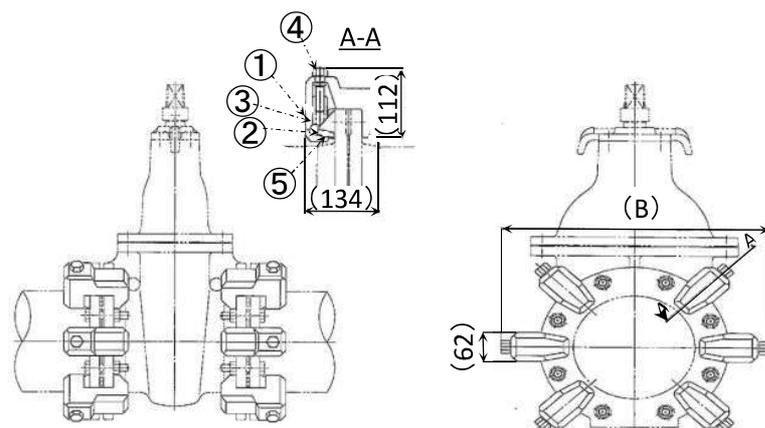
フランジ継手補強金具 参考図 2/4



番号	品名	数量	材質	摘要
1	本体	N	FCD450-10	本体 (2片で1組)
2	全ねじ六角ボルト・平座金	N	SUS304J3 又はSUS304	六角ボルト・ナット等
3	六角ボルト・平座金	N'	SUS304J3 又はSUS304	
4	高ナット	N	SUS304	
5	六角ナット	2	SUS304	
6	キャップ	N	高密度ポリエチレン	

呼び径	D4	L	MA	N	N'	②全ねじ六角ボルト	③六角ボルト
250	360	128	543	6	8	M20×70	M20×90
300	414	130	602	8	10	M20×70	M20×90
350	472	133	654	8	10	M20×70(頭部M22)	M22×95
400	524	135	705	10	12	M20×70(頭部M22)	M22×95

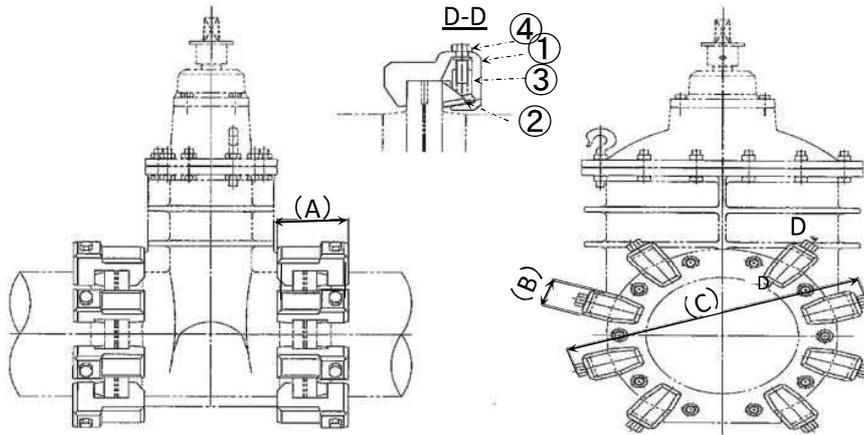
フランジ継手補強金具 参考図 3/4



呼び径	使用数(個)	B
75	2	352
100		379
150	4	431
200	6	483

番号	名称	材質	個数	摘要
1	フランジ継手補強金具	FCD450-10	2~6	本体
2	スライドピース	FCD450-10	2~6	本体
3	中間ピース	FCD450-10	2~6	本体
4	操作ボルト・ナット	SUS304又は SC13	2~6組	六角ボルト ・ナット
5	固定ゴム	JWWA K 156 のSBEのI類A	4~12	

フランジ継手補強金具 参考図 4/4



呼び径	使用数(個)	寸法(mm)		
		A	B	C
250	6	143	66	535
300	8			172
350		703		
400		755		
450		825		
500		879		

品番	名称	材質	個数	摘要
1	フランジ継手補強金具	FCD450-10	6~8	本体
2	スライドピース	FCD450-10	6~8	本体
3	中間ピース	FCD450-10	6~8	本体
4	操作ボルト・ナット	SUS304	6~8組	六角ボルト・ナット等

3.2 全面フランジパッキン(RF)

3.2.1 適用範囲

この節では、全面フランジパッキン (RF) について規定する。

3.2.2 材 料

本材料は、スチレンブタジエンゴム (SBR) とする。

3.2.3 品 質

ゴム製品の物製、浸出性はJWWA K 156 水道施設用ゴム材料による。

3.2.4 外 観

外観の確認は、目視によって行い、表面は滑らかで、使用上有害なきず、ひび割れ、泡、異物の混入などの欠陥があってはならない。

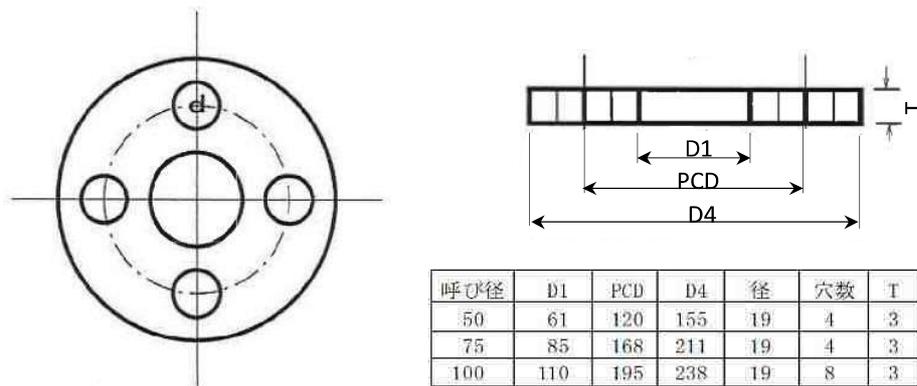
3.2.5 試 験

- (1) 硬さ試験、引張試験及び促進老化試験は、JWWA K 156による。
- (2) 圧縮永久ひずみ試験は、JWWA K 156及びJWWA G 113・114附属書Aによる。
- (3) 浸せき試験は、JWWA G 113・114附属書Aの規定により、JIS K 6259によって行う。
- (4) オゾン劣化試験は、JWWA G 113・114附属書Aの規定によりJIS K 6259によって行う。
- (5) 浸出試験は、JWWA K 156の規定により行う。
- (6) 形状の確認は、目視又はゲージによって行い、寸法の測定は、適切な計測器、限界ゲージなどを用いて行う。
- (7) 表示の確認は、目視によって行う。
- (8) 外観の確認は、目視によって行う。

3.2.6 検 査

- (1) 品質検査は、3.2.5(1)～(5)によって試験を行い、3.2.3に適合しなければならない。
- (2) 表示検査は、3.2.5(8)によって試験をおこない、3.2.4に適合しなければならない。

参考図



呼び径	D1	PCD	D4	径	穴数	T
50	61	120	155	19	4	3
75	85	168	211	19	4	3
100	110	195	238	19	8	3
150	178	240	280	23	8	3
200	218	290	330	23	12	3
250	355	355	400	25	12	3
300	321	400	445	25	12	3
350	359	445	490	25	16	3
400	410	510	560	27	16	3
450	460	565	620	27	20	3
500	513	620	675	27	20	3
600	615	730	795	33	24	3